MASPRO

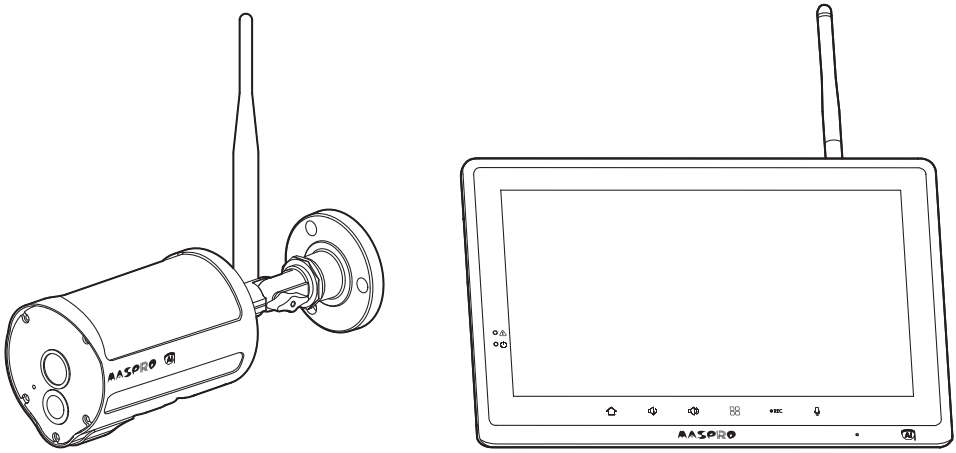
ワイヤレスカメラセット

WIRELESS CAMERA SET

WC3B10ML

取扱説明書

保証書付



付属品

カメラ用ACアダプター（コード約1.8m）	1個
モニター用ACアダプター（コード約1.5m）	1個
カメラ用アンテナ	1本
モニター用アンテナ	1本
アンカー（カメラ設置用）	3本
ねじ(カメラ設置用)	3本
位置決めガイド	1部
六角レンチ(カメラ角度調整用)	1個
LANケーブル(約1.5m)	1本
防犯ステッカー	1部

●本機は、防犯を保証する機器ではありません。
ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。

●本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、スマートフォン・タブレットで映像を見る場合、およびソフトウェアアップデートを行う場合には、有線接続できるインターネット環境が必要です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
●この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

はじめに

特長 …… 3
安全上のご注意 …… 4
ご使用になる前に …… 7
使用上のご注意 …… 7
AI検知について …… 8
モーション検知について …… 8
無線電波についてのご注意 …… 9
日時設定について …… 9
microSDカードについて …… 10
外付けハードディスクについて … 10
商標について …… 10
必ずお読みください …… 11
本機の譲渡や廃棄をするときのご注意 … 11
各部の名称 …… 12

設置する

必要な物を準備する …… 14
映像確認をする …… 15
カメラを設置する …… 16
microSDカードを挿入する …… 19
外付けハードディスクを接続する … 20
テレビに接続する …… 21
モニターを壁に掛ける …… 22

初期設定

メニュー画面を表示する …… 23
日時を設定する …… 24
録画する時間帯・録画の方法を設定する … 25

操作する

モニター画面のアイコンについて … 27
カメラの映像・音声を切換える …… 29
カメラの映像をズーム表示する …… 30
モニターからカメラに通話する …… 31
カメラの音量を調整する …… 32
録画したカメラの映像を見る …… 33

詳細設定

2台以上使用する場合(ペアリング設定) … 35
表示するカメラを選択する …… 36
映像解像度の設定 …… 37
明るさの設定 …… 37
フリッカー防止の設定 …… 38
センサーライトの設定 …… 39
AI検知の設定 …… 42
モーション検知感度の設定 …… 45
録画時間の設定 …… 45
microSDカード・外付けハードディスクの初期化 … 46
上書き録画の設定 …… 47
パワーセーブ(モニター表示ON/OFF)の設定 … 48
表示言語の変更 …… 49
初期値(工場出荷時の状態)に戻す … 50
警報音の設定 …… 51
警報音量の設定 …… 52
警報音の繰返し間隔の設定 …… 52
警告音の設定 …… 53
定時メンテナンスの設定 …… 56
ネットワーク情報の確認・IP設定の変更 … 57
ソフトウェアアップデートをする … 58

スマートフォンで映像を見る

スマートフォンの設定をする …… 59
表示内容と操作方法(iPhone/iPad) … 62
録画した映像を再生する(iPhone/iPad) … 64
表示内容と操作方法(Android) …… 65
録画した映像を再生する(Android) … 67

必要なとき

故障とお考えになる前に …… 68
お手入れとメンテナンスのご注意 … 69
別売品 …… 69
規格表 …… 70
保証書 …… 72

特長

●かんたん設定

カメラとモニターのACアダプターをACコンセントに差込んで、モニターの電源スイッチをONにするだけで、カメラ映像がモニター画面に表示されます。
モニター画面のメニュー操作だけで利用できます。

●300万画素高解像度カメラ（解像度2304H×1296V）

300万画素でカメラ映像を録画できます。
（300万画素での録画映像の再生は、4K対応モニターを使用したパソコンをご利用ください。本機モニター映像はHD画質で表示されます。）

●防じん・防水（IP66）のワイヤレスカメラ

屋内はもちろん、屋外にも対応できます。
（完全防水ではありませんから、軒下など直接雨がかからない場所をお勧めします）

●センサーライト機能

可視光線LEDを搭載し、モーション・AI検知時に点灯できます。モニター操作によっても点灯できます。

●警告音機能

カメラにスピーカーを搭載しており、モーション・AI検知時に警告音を発報できます。
モニター操作によっても発報できます。

●通話機能

モニターにマイクを搭載しており、カメラのスピーカーを通じて通話することができます。
スマートフォン用アプリからも通話できます。

●夜間撮影対応

カメラに赤外線投光器を内蔵していますから夜間撮影も可能です。
（赤外線撮影により、白黒映像となり、明暗に差が出る場合があります）

●カメラを最大4台まで接続可能（環境によっては使用できないことがあります）

カメラを最大4台まで接続してモニターに表示できます。（4台同時録画可能）
当社の増設カメラをご利用ください。対応する増設カメラの最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

●AI検知・モーション検知機能

AI検知（人・車）やモーション検知（動体）をすると、モニターに挿入したmicroSDカード（市販品）や接続した外付けハードディスク（別売品）に録画したり、スマートフォンやタブレットにプッシュ通知（お知らせ）したりすることができます。（インターネット環境が必要です）

●microSDカードレコーダー

モニターにmicroSDカード挿入口を搭載していますから、microSDカード（市販品）にカメラ映像を録画できます。 また録画モードは、モーション検知、スケジュール、マニュアルから選択できます。（microSDカードは消耗品ですから定期的な交換をお勧めします）

●USB端子

モニターにUSB端子を搭載していますから、外付けハードディスクにカメラ映像を録画できます。（外付けハードディスクは当社製品 **MS-HDD2TB**（別売品）をご利用ください）

●HDMIミニ端子

モニターにHDMIミニ端子を搭載していますから、テレビなど外部モニターにカメラ映像を映し出すことができます。（HDMIミニケーブル（市販品）は2m以下をご利用ください）

●スマートフォン・タブレット対応

モニターが有線のネットワーク回線に接続されていれば、スマートフォン・タブレットでカメラ映像の閲覧ができます。[対応OS:iOS8.0以降　Android7.0以降、（iOS10.3、Android7.0まで作動確認済）

安全上のご注意

●付属のACアダプターは、WC3B10ML専用です。WC3B10ML以外に使用しないでください。
また、他の機器のACアダプターをWC3B10MLに使用しないでください。
●付属のACアダプターの使用方法は、取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

禁止の行為を示しています。	行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

⚠警告

●本機や付属品などを包装しているポリ袋、および細かい部品は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
●ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
●電源ケーブル、およびACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
●ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
・布や布団でおおったり、包んだりする。

⚠ 警告



●本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
●ACアダプターに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞などが中に入った場合、火災・感電の原因となります。
●本機やACアダプターの近くで、マニキュア・除光液などの揮発性液体を使用しないでください。本機やACアダプターの内部に入って引火すると火災の原因となります。
●ぬれた手で、ACアダプターを抜差ししないでください。感電の原因となります。
●雷が鳴出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
●本機にホースなどで直接水をかけないでください。火災・感電の原因となります。
●電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしないでください。感電の原因となります。
●雷のときは配線工事をしないでください。火災・感電の原因となります。
●ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつながないでください。電気設備技術基準で禁止されています。接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
●点灯しているライトを直接見ないでください。視力障害の原因となります。
●スピーカー部を耳にあてないでください。難聴などの原因となります。



●万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
●ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。
●ACアダプターは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と組合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
●ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

⚠ 警告

●本機を壁面に取付けて使用するときは、堅固・確実に取付けてください。不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、ベニヤ板など]には取付けないでください。落下により、けがの原因となります。
●配線工事は安全・確実に行なってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。
●電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。
●ACアダプターは防水ケースなどに入れて、防水処理を行なってください。火災・感電の原因となります。
●電源コネクターの接続部は、防水ケース、自己融着テープなどで防水処理を行なってください。火災・感電の原因となります。
●本機を壁面や天井に設置するときは、配線や配管を傷つけないように取付けてください。配線や配管などを傷つけると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

●本機やACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●本機やACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
●土中埋設配線する場合は、土中での接続はしないでください。絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

●本機を移動させる場合、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
●お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。また、冷めてから触るようにしてください。やけどの原因となることがあります。
●長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
●雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
●土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、配線管などを使用して防水処理をしてください。感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機を使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。
●本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。
本機が故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
●本機は、防犯を保証する機器ではありません。
ご使用中に、人命･財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。
撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、microSDカードや外付けハードディスクなどへ、正常に録画できなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●本機は、microSDカードや外付けハードディスクなどへカメラ映像を録画できますが、カメラとモニターの通信状態により、録画が途切れたり、停止したりすることがあります。
●本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、スマートフォン・タブレットで映像を見る場合、およびソフトウェアアップデートを行う場合には、インターネット環境が必要です。
●ADSL、ISDN、ダイヤルアップ回線や通信速度によってはご利用いただけません。
●本機をインターネットに接続して使用する場合は、IPv4インターネット接続環境であることをご確認ください。IPv6インターネット接続環境には対応していません。インターネット接続環境はご契約のプロバイダーへご確認ください。
●スマートフォン・タブレットで映像を見る場合、パソコンサイトを閲覧する契約および通信料が必要になります。また、通信料が高額になる場合がありますから、ご契約の携帯電話会社にご確認ください。
●スマートフォン以外の携帯電話では使用できません。
●スマートフォンなどのテザリングでは使用できません。
●モバイルルーターでの接続はできません。
●本機に磁石など磁気を持っているものを近付けないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
●エアコンの室外機の風が直接当たる場所に設置しないでください。故障･誤作動の原因となります。
●カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
●高温・高湿となる場所で使用しないでください。 故障の原因となります。
●モニターは防水ケースの中など、風通しの悪い場所に設置しないでください。録画ができないなどの不具合が生じる可能性があります。
●ACアダプターを第2種環境（商業、軽工業、および工業用環境）の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
●換気扇などのモーター類を搭載した機器の電源とは別系統で配線してください。電源ノイズの影響を受け、録画や表示が正しく作動しない可能性があります。
●本機は、2.4GHz帯で通信する無線LANの電波に影響を与えたり、無線LANの電波から影響を受けたりすることがあります。
●周囲温度0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
●センサーやカメラのレンズには手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
●塩害地域や腐食性ガスが発生する環境では使用できません。
●カメラ照明が人や車の迷惑にならないように取付けてください。
●本書に記載している以外の方法で使用しないでください。故障や発火・発煙の原因になることがあります。
●その他の、最新のご注意については、設置前に弊社技術相談までお問合せください。

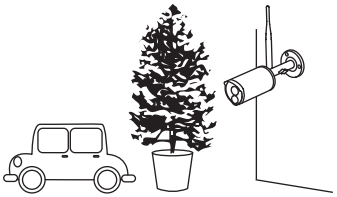
AI検知について

本機は、AI検知で人・車を設定した場合(p.42)に作動します。
そのため、人の形に似たような物や、車の形に似たような物を誤って検知することがありますが故障ではありません。

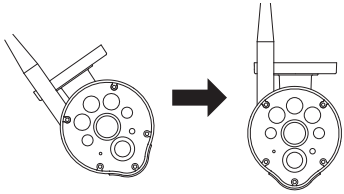
●誤って検知する場合は、「検知エリアの設定」(p.43)で誤検知する被写体を検知エリア対象から外してください。

検知しない場合(例)

カメラの前に障害物がある
●障害物を取除いてください。



カメラの水平が傾いている
●カメラが水平になるように設置してください。



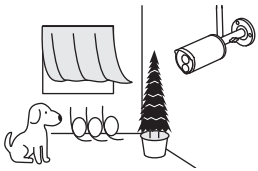
モーション検知について

本機は、カメラの赤外線人感センサーにより、赤外線を検知して作動します。
そのため、下記のような場合には、誰もいないのに検知することや逆に検知しないことがありますが故障ではありません。

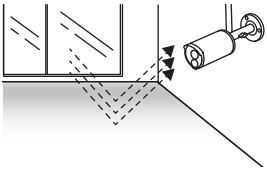
●検知距離：約7m(周囲温度20℃のとき)(夜間は検知距離が短くなります)

誰もいないのに検知する場合(例)

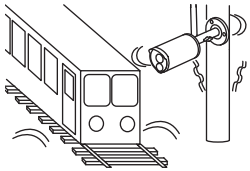
動くものがある
●風などで揺れる植物やカーテン、犬、猫などのペット



大理石の床や壁などの光の反射を強く受ける

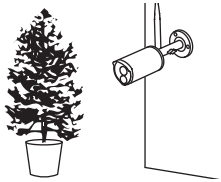


強い振動を受ける場所に設置

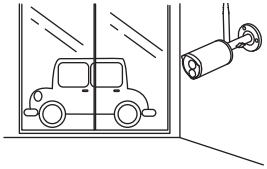


検知しない場合(例)

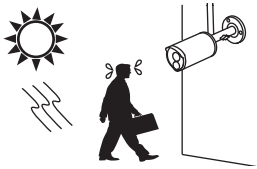
カメラの前に障害物がある
●障害物を取除いてください。



ガラスや壁ごしの場所にある

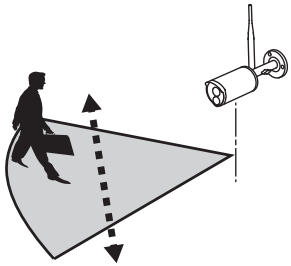


カメラの周囲温度が高い
●周囲温度の低い場所に設置してください。

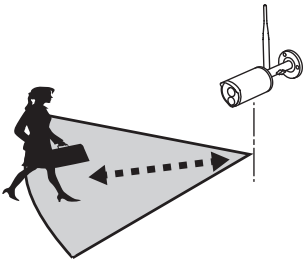


モーション検知の特性

カメラを横切る動きは検知しやすく、カメラの正面から近づく動きは検知しにくくなります。



左右方向の移動：検知しやすい



縦方向の移動：検知しにくい

無線電波についてのご注意

本機の無線電波の周波数帯は2.4GHz帯です。 この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、免許を要する工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用構内無線局や、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局で適用されています。
このため、電波の干渉による無線通信の障害を防止するため、以下の点にご注意ください。

・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合、速やかに本機の使用場所を変えるか、無線LANの使用を停止してください。

本機の無線の電波について



2.4	：2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を表します。
DS/OF	：DS-SS/OFDM方式であることを表します。
4	：想定される干渉距離が40m以下を表します。
▬▬▬	：使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを表します。

不明な点、その他お困りのときは、技術相談まで、お問合わせください。

日時設定について

本機には時計機能があり、映像に日時を記録できます。

この時計機能は内部のクロックで作動しているため、月差約1分程度の誤差となりますから、定期的に正しい時刻に日時設定を行なってください。
モニターをインターネットに接続し、NTPを使用することで定期的に自動で日時が設定されます。

microSDカードについて

モニターのmicroSDカード挿入口にmicroSDカードを挿入することで、カメラの映像を録画できます。
本機は、下記のmicroSD規格によるmicroSDカードが使用できます。

カードの種類	microSDHC/microSDXCメモリーカード(クラス10以上)
メモリ容量	最大256GB

- 上記規格を満たす、すべてのmicroSDカードの作動を保証するものではありません。
- microSDカードは消耗品ですから定期的な交換をお勧めします。
- microSDカードを挿入するときは、モニターの電源をOFFにしてから行なってください。
- microSDカードを取出すときは、録画中でないことを確認してください。録画中にmicroSDカードを取出すとデータが破損することがあります。
- メモリ容量の大きいmicroSDカードが挿入されていると、モニターの電源をONにしてからモニターが起動するまでに、10秒以上かかることがあります。
- microSDカードは、不良セクタが発生する場合があります。その状態でデータの記録が繰り返されると、記録可能領域が異常となります。安定してご使用いただくため、2週間に一度、初期化することをお勧めします。

外付けハードディスクについて

モニターのUSB端子に外付けハードディスクを接続することで、カメラの映像を録画できます。
外付けハードディスクは当社製品 **MS-HDD2TB**(別売品)をご利用ください。

- バスパワータイプのハードディスクなど、当社製品以外のハードディスクは使用しないでください。モニターの作動が不安定になります。
- ハードディスクは、不良セクタが発生する場合があります。その状態でデータの記録が繰り返されると、記録可能領域が異常となります。安定してご使用いただくため、3～ 4か月に一度、初期化することをお勧めします。

商標について

- iPhone、iPadは、Apple Inc.の商標です。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GoogleおよびGoogleロゴ、Android™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

必ずお読みください

本機を設置する前に、必ず作動確認を行なってください。

受信状況の悪い場所には設置しないでください。

はじめに、移動できる場所でカメラの映像がモニター画面に表示されることを確認してください。

次に、設置場所近くの環境でもカメラの映像がモニター画面に表示されることを確認してください。

●設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響により電波が減衰したりして、正常に作動しないことがあります。

直射日光が当たる場所には設置しないでください。

ACアダプターは、周囲温度が40℃を超えると寿命が大きく短くなるため、カメラのACアダプターを防水ボックス内に設置する場合は注意が必要です。特に直射日光が当たる場所では、防水ボックス内部の温度が40℃以上になることがありますから、故障や寿命低下を防ぐため、直射日光の当たらない場所に設置してください。

本機の譲渡や廃棄をするときのご注意

本機の譲渡や廃棄をする場合、プライバシー情報の漏えいなどを防止するために、下記の点にご注意ください。

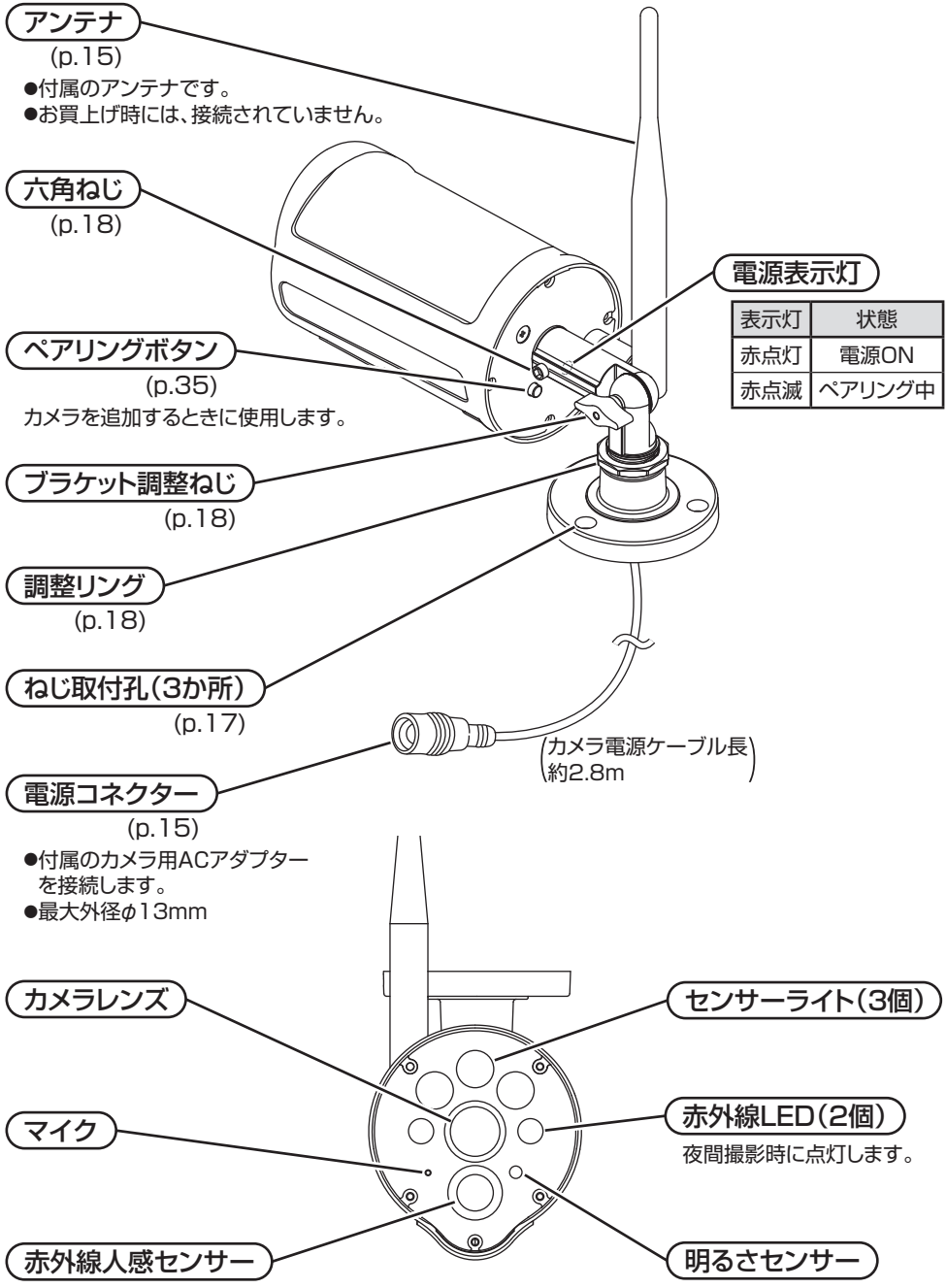
●本機のシステム設定を初期化して、設定した情報を消去する。
[システム設定を初期化する方法は、p.50をご覧ください]

●本機にmicroSDカードを挿入しているときは、microSDカードを取出す。

●本機を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

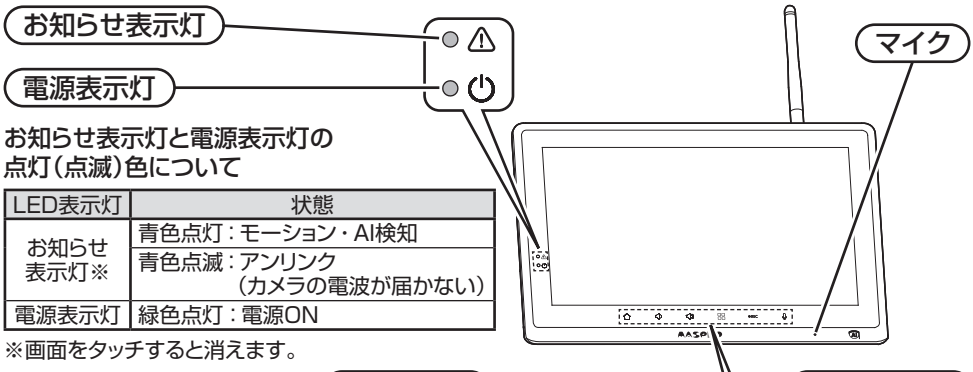
各部の名称（カメラ）

カメラ



各部の名称（モニター）

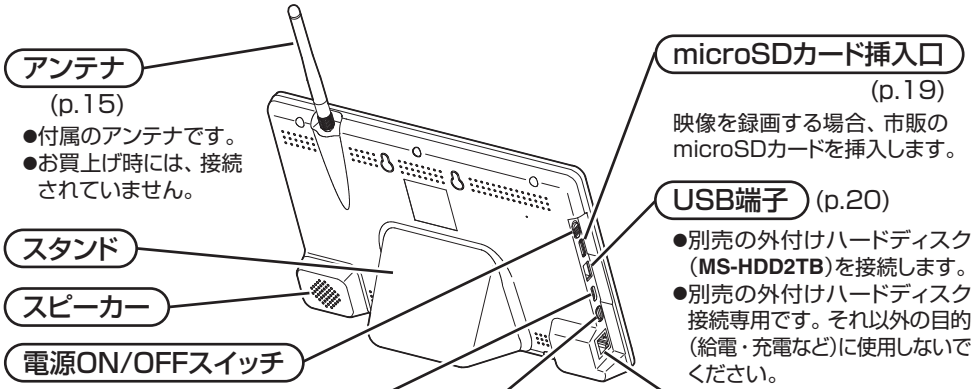
モニター



お知らせ表示灯と電源表示灯の点灯（点滅）色について

LED表示灯	状態
お知らせ表示灯※	青色点灯：モーション・AI検知
	青色点滅：アンリンク（カメラの電波が届かない）
電源表示灯	緑色点灯：電源ON

※画面をタッチすると消えます。

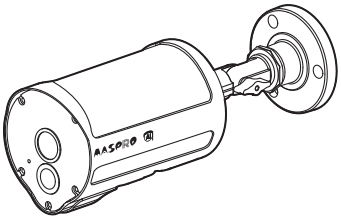


必要な物を準備する

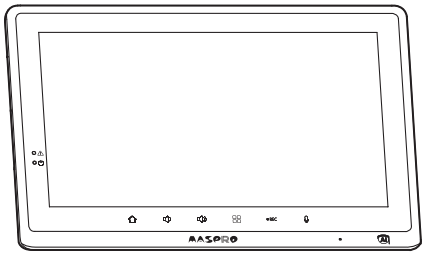
設置する

はじめに以下のものを準備します。

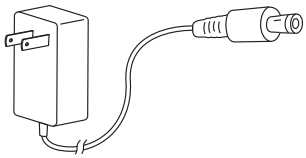
カメラ



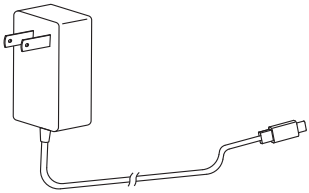
モニター



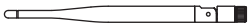
カメラ用ACアダプター
（コード約1.8m）（付属品）



モニター用ACアダプター
（コード約1.5m）（付属品）



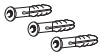
カメラ用アンテナ
（長さ19.5cm）（付属品）



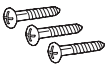
モニター用アンテナ
（長さ10.8cm）（付属品）



アンカー（3本）
（付属品）



ねじ（M4、3本）
（付属品）

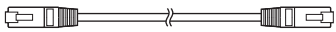


六角レンチ
（付属品）



LANケーブル（約1.5m）（付属品）

●スマートフォン・タブレットを使用してカメラ映像を見る場合、およびソフトウェアアップデートする場合に使用



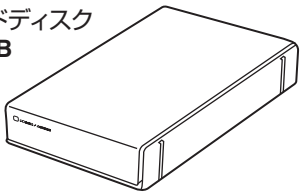
使用方法によって、お客様で用意していただくもの

microSDカードを使用して映像を録画する場合

microSDカード
（microSDHC/microSDXC）
（クラス10以上、容量：最大256GB）

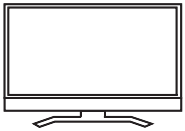
外付けハードディスクを使用して映像を録画する場合

外付けハードディスク
MS-HDD2TB
（別売品）



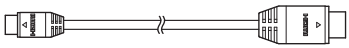
テレビを使用してカメラ映像を見る場合

テレビ
（HDMI1.4、1080i/720p入力）
対応のテレビ・モニターなど）



HDMIミニケーブル
（片端HDMIミニ端子用、片端HDMI端子用）

●HDMIミニケーブルは2m以下を使用してください。



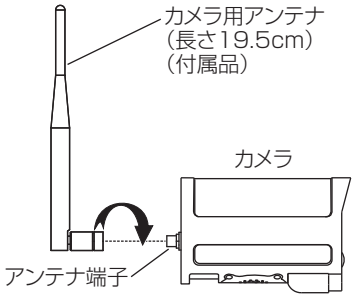
映像確認をする

設置する

1. カメラの準備をする

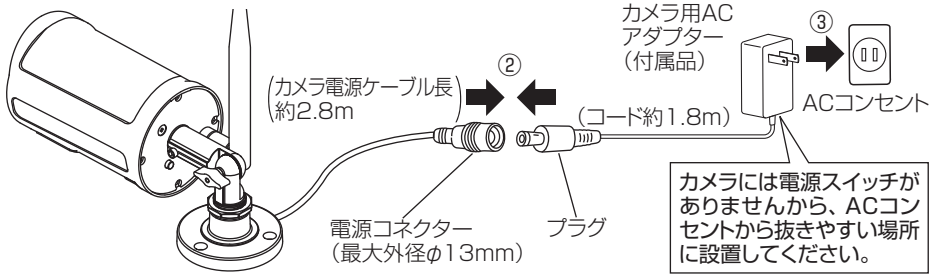
① カメラ背面のアンテナ端子に、付属のカメラ用アンテナを接続します。
●アンテナを差込んで右に回します。

ご注意	●アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。 ●アンテナが接続されていないと、モニターで映像を見ることができません。 ●アンテナ端子の防水のため、アンテナはしっかりと締付けてください。



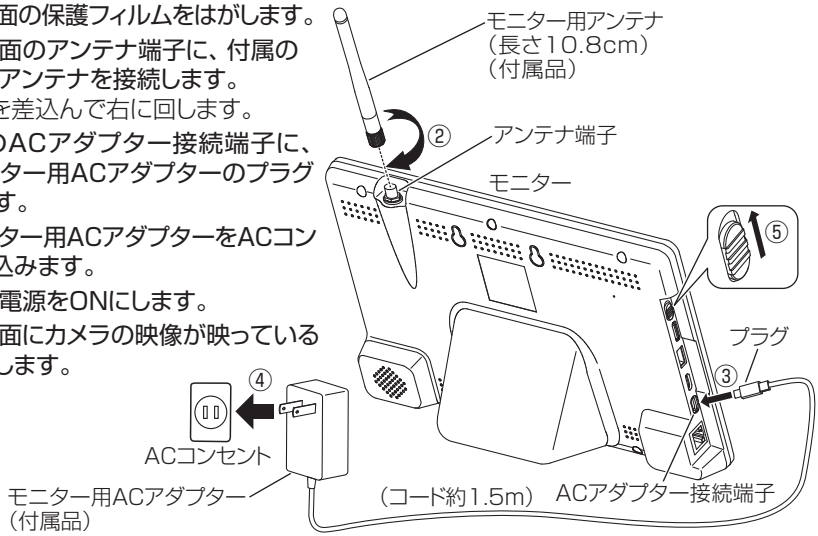
② カメラの電源コネクターと付属のカメラ用ACアダプターのプラグを接続します。
●屋内に設置、または市販の防水ケース（ACアダプターより大きく、充分に余裕のあるもの）を使用して設置してください。

③ カメラ用ACアダプターをACコンセントに差込みます。



2. モニターの準備、映像確認をする

① モニター画面の保護フィルムをはがします。
② モニター背面のアンテナ端子に、付属のモニター用アンテナを接続します。
●アンテナを差込んで右に回します。
③ モニターのACアダプター接続端子に、付属のモニター用ACアダプターのプラグを接続します。
④ 付属のモニター用ACアダプターをACコンセントに差込みます。
⑤ モニターの電源をONにします。
⑥ モニター画面にカメラの映像が映っていることを確認します。



カメラを設置する

設置上のご注意

- ●落下事故や製品故障、その他工事に関わる問題について、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ●**カメラの電源コネクター、およびACアダプターは防水構造ではありません。**屋内に設置、または市販の防水ケース(ACアダプターより大きく、充分に余裕のあるもの)を使用して設置してください。ビニール袋に入れたり、防水テープや自己融着テープなどを巻付けたりしないでください。ACアダプターの温度が上昇して、故障や発煙・発火の原因となることがあります。
- ●カメラを使用しなくなった場合は、必ず撤去してください。そのまま放置すると、落下によりけがの原因となることがあります。
- ●増設用カメラを追加する場合、カメラの設置前に、ペアリング設定(p.35)することをお勧めします。

1. カメラの設置場所を決める

以下の点に留意し、本機の設置場所を決めてください。

- ●カメラを仮設置した後に、撮影範囲や電波の強さ、および作動を確認し、配線と設置を行なってください。(受信状態の悪い場所には設置しないでください)
- ●カメラとモニターの通信距離は、見通しがよく他の電波の影響を受けない環境において、最大300mです。カメラとモニターの間に壁など(木造壁・床、金属製のドア、コンクリート、鉄骨、金属の障害物)がある場合には、電波が減衰して使用できる距離が短くなります。
- ●外壁に金属など(ガルバリウム鋼板、金属サイディング、トタン、ALC+金属断熱材)や高機能ガラス(遮熱、複層、熱線反射)が使用されている場合には、反射波によりマルチパスが発生してアンテナレベルが不安定になることがあるため、中継器を利用して見通しの良い場所に設置するようにしてください。

壁がある場合の目安

木造:約10～ 40m(完全に電波が届かない構造の建物では通信できません)

- ●電波の強さは、モニター画面の電波強度アイコン(p.27)が (3本以上)あることを確認してください。

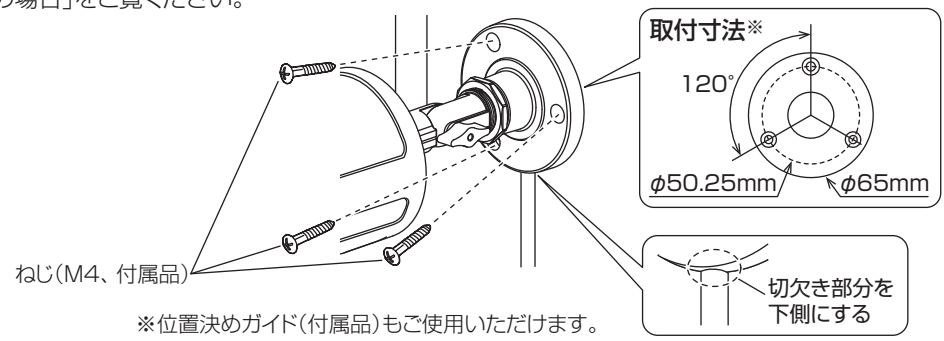
電波強度アイコンが0 ～ 2本の場合、次のことを参考にして3本以上にしてください。

- ●カメラやモニターの向きを変えたり、位置を移動したりしてください。電波状況が改善することがあります。[カメラを移動できないときは、モニターを移動しながら、電波状況が改善する場所を探してください。または、中継器**WC3-RP**(別売品)を使用してください。]
- ●設置する場所付近で無線LANなど、2.4GHz帯を利用する機器(ルーター、コードレスホンなど)を利用している場合、電波状況が悪化することがあります。無線LANなどの機器から離して設置する、またはルーターなどの設定を変更してください。

- ●カメラを2台以上使用する場合、カメラ同士3m以上の間隔をあけて設置してください。
- ●カメラを他のセンサーライトの近く(目安距離:5m)に設置しないでください。夜間にセンサーライトの光が照らされると、カメラに搭載している照度センサーが反応し、暗視撮影できなくなることがあります。
- ●2セット以上を同一場所に設置することはできません。
- ●カメラは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。
- ●ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。

2. カメラを壁面に取付ける

付属のねじ(3本)でカメラを壁面にしっかりと取付けます。
●壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合は、下記「壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合」をご覧ください。



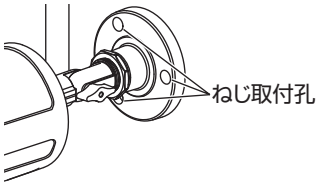
※位置決めガイド(付属品)もご使用いただけます。

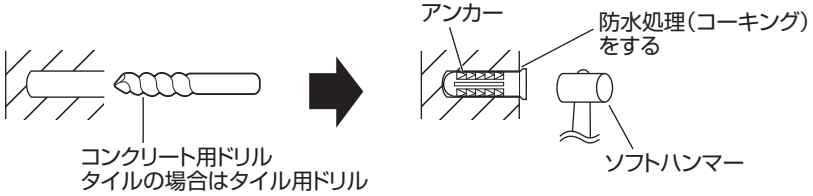
⚠警告

●不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁[石こうボード、コンクリートブロック、ALC(軽量気泡コンクリート)、ベニヤ板など]には取付けないでください。また、カメラを取付けても充分に支えられる壁面にしっかりと取付けてください。落下によりけがの原因となります。
●壁面内の配線や配管を傷つけないように取付けてください。ねじなどで、配線や配管を傷つけると、火災・感電の原因となります。

壁面の材質がモルタルやコンクリートの場合

① カメラを設置したい位置に合わせ、ねじ取付孔から印を付けます。
② 印に合わせて下図のようにドリル(φ6.4mm)で穴を開け、アンカーを差込み、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
●アンカーは壁面に挿入したら、コーキングしてください。





③ 上記のように、付属のねじ(3本)で壁面に取付けます。

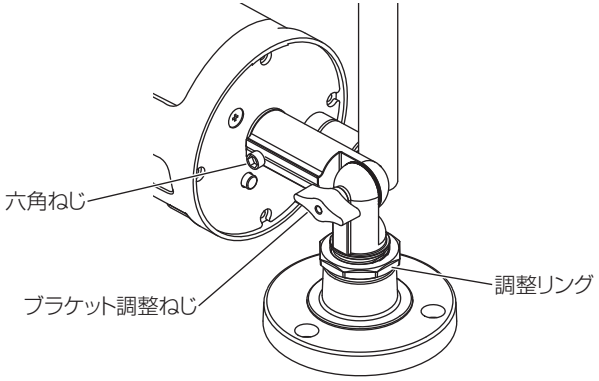
ご注意	●工事は販売店もしくは施工業者に依頼することをお勧めします。壁への穴開け工事について、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 ●モルタル塗壁の場合は、穴開けにより、古い壁が落ちることがありますから、注意して穴開けをしてください。

3. カメラの角度を調整する

① カメラとモニターの電源を入れます。

② モニターで映像を確認しながら、六角ねじ、ブラケット調整ねじ、調整リングをゆるめて、カメラの角度を調整します。
- ●六角ねじは、カメラの回転角度を調整できます。付属の六角レンチを使用してゆるめます。
- ●ブラケット調整ねじは、カメラの上下の角度を調整できます。
- ●調整リングは、カメラの左右の角度を調整できます。

③ 角度を調整後、六角ねじ、ブラケット調整ねじ、調整リングをしっかりと締付けます。



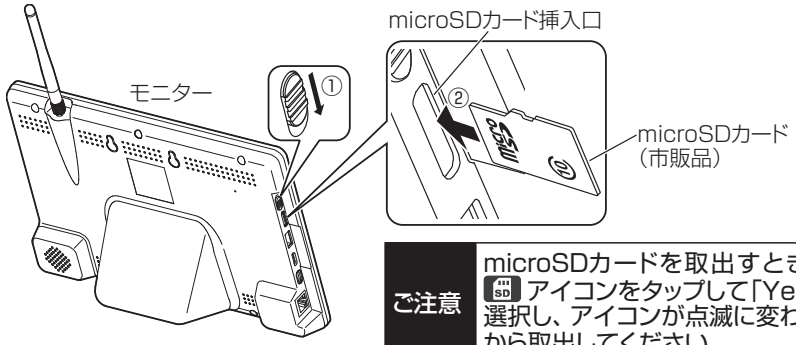
ご注意	●カメラを回転させるときは、ケーブルのねじれに注意してください。 ●センサーライトが通行する人や車の迷惑にならないように取付けてください。

microSDカードを挿入する

設置する

●市販のmicroSDカードに撮影した映像を保存できます。
［外付けハードディスクを接続している場合(p.20)、外付けハードディスクへの録画を優先して行います］
●映像を録画しない場合、microSDカードは必要ありません。
●microSDカードについては、「microSDカードについて」(p.10)をご覧ください。
●microSDカードは初期化(p.46)を行なってから使用してください。

① モニターの電源をOFFにします。
② microSDカードをmicroSDカード挿入口に図のように挿入します。
●ロゴ表示面をモニター背面側にして挿入してください。
③ 「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込みます。
④ モニターの電源をONにします。［画面に SD アイコン(p.27参照)が出ていることを確認します］
●microSDカードを認識しない場合、モニターの電源をOFFにしてmicroSDカードを抜き、再度、挿入してください。
●初期化していないmicroSDカードを挿入した場合、初期化画面(p.46)が表示されます。
✓ をタップして初期化を行なってください。



ご注意 microSDカードを取出すときは、SD アイコンをタップして「Yes」を選択し、アイコンが点滅に変わってから取出してください。

録画時間の目安

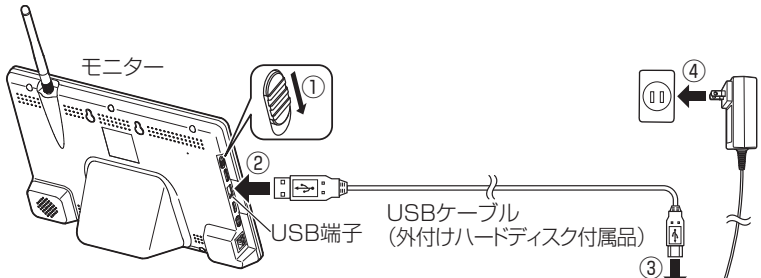
同時録画カメラ数	画質	microSDカード容量						
		256GB	200GB	128GB	64GB	32GB	16GB	8GB
1台	HD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	FHD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	3MP	133時間	103時間	66時間	33時間	16時間	8時間	4時間
2台	HD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	FHD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	3MP	133時間	103時間	66時間	33時間	16時間	8時間	4時間
3台	HD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	FHD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	3MP	133時間	103時間	66時間	33時間	16時間	8時間	4時間
4台	HD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	FHD	199時間	155時間	99時間	50時間	25時間	12時間	6時間
	3MP	133時間	103時間	66時間	33時間	16時間	8時間	4時間

●カメラの接続台数に応じてフレームレートが自動調整されるため、録画時間は大きく変わりません。
●HDとFHDでは、カメラの圧縮率が自動調整されるため、録画時間に大きな変化はありません。
●上記は連続録画目安時間であり、実際の撮影環境によって変動します。

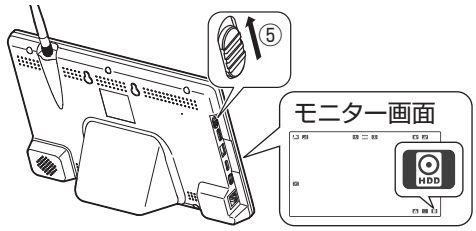
外付けハードディスクを接続する 設置する

●外付けハードディスク **MS-HDD2TB**（別売品）に撮影した映像を保存できます。
●映像を録画しない場合、外付けハードディスクは必要ありません。
●外付けハードディスクについては、「外付けハードディスクについて」(p.10)をご覧ください。
●外付けハードディスクは初期化(p.46)を行なってから使用してください。

① モニターの電源をOFFにします。
② モニターのUSB端子に、外付けハードディスクに付属のUSBケーブルを接続します。
③ USBケーブルを外付けハードディスクに接続します。
④ 外付けハードディスクの電源をONにします。
●外付けハードディスクの操作方法について、詳しくは、外付けハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
●初期化していない外付けハードディスクを接続した場合、初期化画面(p.46)が表示されます。
✓をタップして初期化を行なってください。



⑤ モニターの電源をONにします。
●モニター画面に HDD アイコン(p.27参照)が出ていることを確認します。



ご注意 外付けハードディスクを取外すときは、HDD アイコンをタップして「Yes」を選択し、アイコンが点滅に変わってから取外してください。

録画時間の目安

同時録画カメラ数	画質	ハードディスク容量 2TB
1台	HD	1589時間
	FHD	1589時間
	3MP	1045時間
2台	HD	1589時間
	FHD	1589時間
	3MP	1045時間

同時録画カメラ数	画質	ハードディスク容量 2TB
3台	HD	1589時間
	FHD	1589時間
	3MP	1045時間
4台	HD	1589時間
	FHD	1589時間
	3MP	1045時間

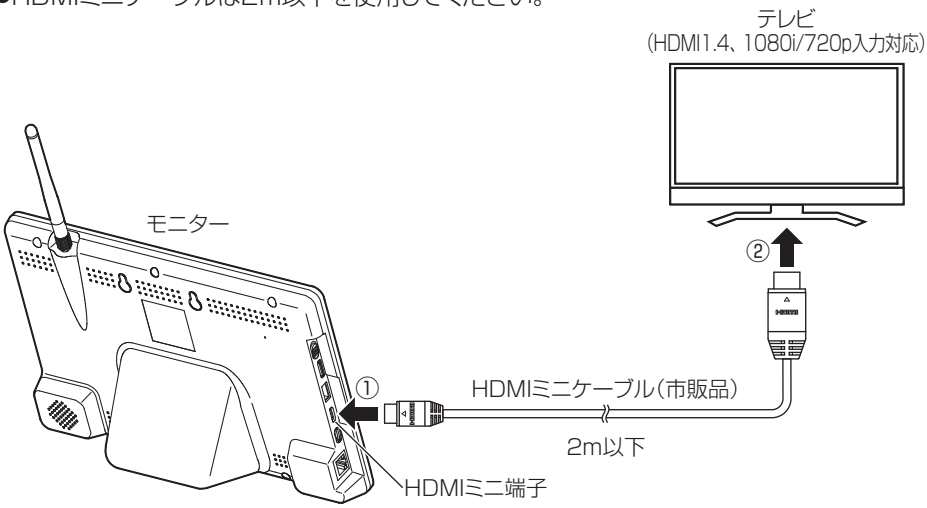
●カメラの接続台数に応じてフレームレートが自動調整されるため、録画時間は大きく変わりません。
●HDとFHDでは、カメラの圧縮率が自動調整されるため、録画時間に大きな変化はありません。
●上記は連続録画目安時間であり、実際の撮影環境によって変動します。あくまで目安としてください。
●バスパワータイプのハードディスクなど、当社製品以外のハードディスクは使用しないでください。
モニターの作動が不安定になります。

テレビに接続する

設置する

モニターにテレビを接続することで、カメラ映像・音声をテレビとモニターで同時に見ることができます。

① モニターのHDMIミニ端子に、市販のHDMIミニケーブルを接続します。
② HDMIミニケーブルをテレビに接続します。
●HDMIミニケーブルは2m以下を使用してください。

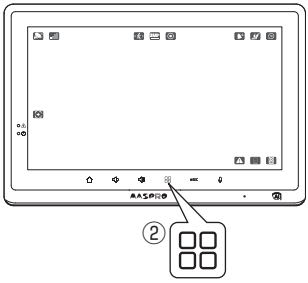


カメラ映像をテレビで見る

① テレビの外部入力を、モニターを接続した入力端子に切換えます。
② モニターのカメラ切換ボタン(⊞)を押して、表示するカメラ番号を切換えます。
●押すたびに、表示するカメラ番号が順に切換わります。

《例:カメラを4台接続している場合》

カメラ番号1(1画面) ➡ カメラ番号2(1画面) ➡ カメラ番号3(1画面) ➡ カメラ番号4(1画面)
4分割画面



●モニター画面をタップしても、表示するカメラ番号を切換えることができます。(p.29)
●パワーセーブ中でも、テレビにはカメラ映像・音声が出力されます。

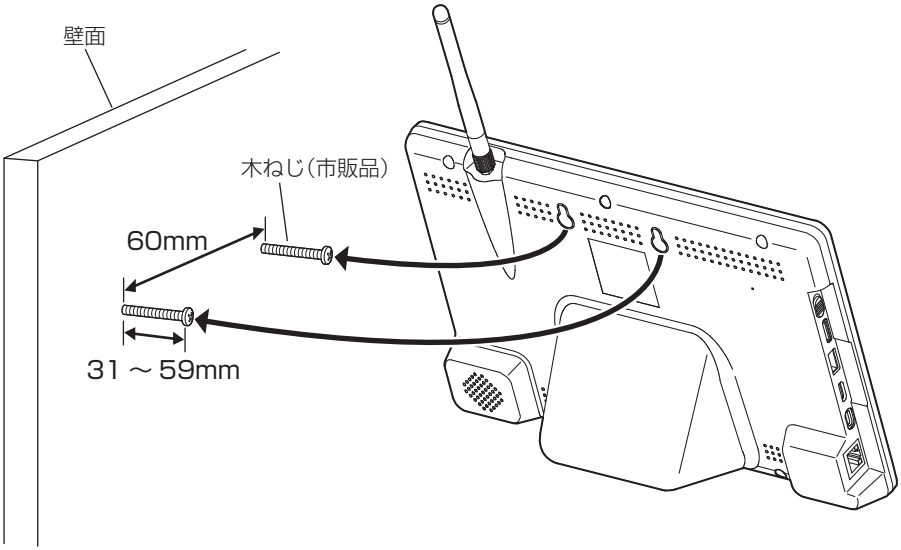
ご注意	●テレビはモニターの画面を表示します。 録画の開始や再生などの各操作はモニターで行なってください。 ●モニターからのHDMI出力はFHDまたはHDになります。 HDMI出力はカメラの解像度に影響されません。

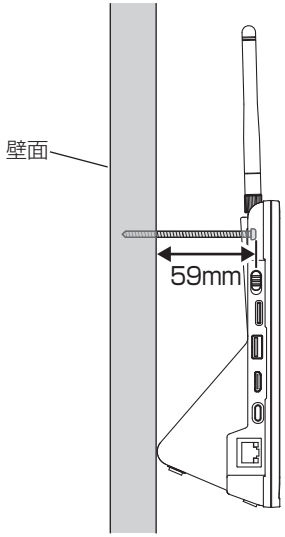
モニターを壁に掛ける

設置する

●市販の木ねじを使用してモニターを壁面に取付けることができます。
●一度取付けると壁面に穴が開きます。事前にモニターに映像が表示されることを確認してから、取付けてください。

① 壁面に市販の木ねじ(M4、2本)を60mm間隔で取付けます。
　●木ねじの頭が31～59mm突き出すように取付けてください。
　●取付ける木ねじの長さは、設置状況に応じて、適切なものを選定してください。
② 木ねじにモニター背面の孔を引っ掛けます。



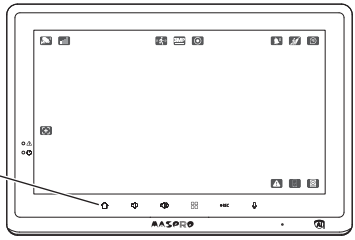


ご注意	アンテナが壁面に当たらないように取付けてください。

メニュー画面を表示する

初期設定

① モニターの「メニューボタン」を押す
- ●メニュー画面が表示されます。
- ●メニュー画面表示後、なにも操作しないと、1分後にカメラ映像画面に戻ります。



② 設定する項目をタップする
- ●設定画面が表示されます。



メニュー画面



設定画面

メニュー 一覧

カメラ

カメラの設定を変更します。

サブメニュー	
ペアリング	⇒p.35
カメラ選択	⇒p.36
解像度	⇒p.37
映像の明るさ	⇒p.37
フリッカー防止	⇒p.38
センサーライト設定	⇒p.39～ p.41
AI検知	⇒p.42、p.43

録画

録画に関する設定を変更します。

サブメニュー	
モーション検知感度	⇒p.45
録画モード	⇒p.25
録画時間	⇒p.45
録画管理	⇒p.46、p.47

システム設定

システムの設定を変更します。

日時設定	⇒p.24
パワーセーブ	⇒p.48
初期化	⇒p.50
言語	⇒p.49
ソフトウェアアップデート	⇒p.58
ネットワーク	⇒p.57
定時メンテナンス	⇒p.56

警報

警報音の設定を変更します。

モーション・AI警報	⇒p.51
アンリンク警報	⇒p.51
警報音量	⇒p.52
繰返し間隔	⇒p.52
カメラ警報	⇒p.53～p.55

再生

⇒p.33

録画した映像を再生します。

音量

⇒p.32

カメラの音量を調整します。

日時を設定する

初期設定

モニター画面への表示、および録画映像に記録するための、日時を設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

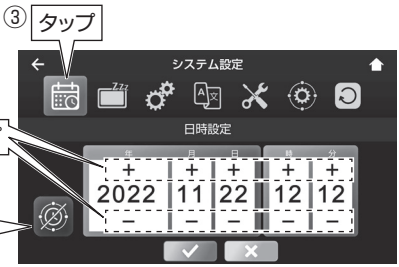
② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (日時設定)をタップする

④ 「+」と「−」をタップして
日付と時刻を設定する

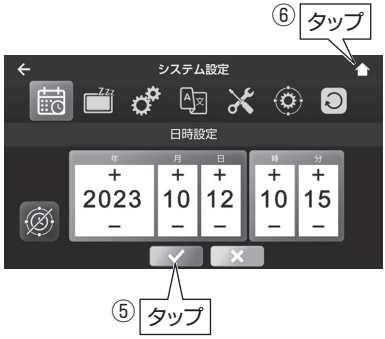


システム設定画面

モニターをインターネットに接続している場合、このアイコンをタップすると、自動でNTP(ネットワークタイムプロトコル)のタイムサーバーに同期して、時刻設定ができます。
●「ネットワーク情報の確認」(p.57)より、モニターのIPアドレスが正しく設定されていることを確認してください。IPアドレスが正しく設定されていない場合は、タイムサーバーと同期できません。
●タップすると、手動での日時設定ができません。

⑤ をタップする
●設定を保存します。

⑥ をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



ご注意	本機には時計機能があり、映像に日時を記録できます。内部クロックで作動しているため、月に約1分程度の誤差があります。定期的に正しい時刻に日時設定を行なってください。

録画する時間帯・録画の方法を設定する 初期設定

●録画を行う、曜日、時間帯を設定します。
●録画方法は、モーション検知録画（人感センサー検知時に録画）、スケジュール録画（常時録画）、マニュアル録画（手動録画）の3種類があります。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

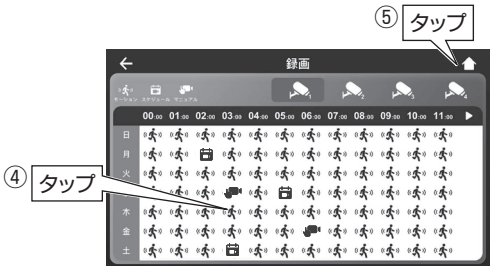
③  をタップする
●録画モード画面が表示されます。



録画設定画面

④ タップして、録画方法および録画を有効にする時間帯を設定する
●曜日、時間帯単位で録画方法の設定ができます。
●録画モード画面の操作方法については、次ページをご覧ください。

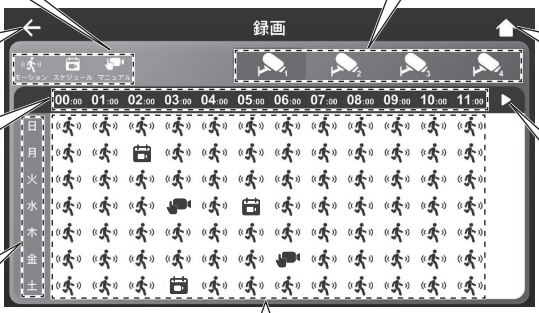
⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



録画モード画面

録画する時間帯・録画の方法を設定する つづき 初期設定

《録画モード画面の操作方法》



録画方法 タップするたびに録画方法が切換わります。
●出荷時は「モーション検知録画」に設定されています。

モーション検知録画：人感センサーで検知したときに録画します。
- ●録画モード画面（上記）で録画する時間帯を設定します。
- ●録画は最後のモーション検知があってから、約30秒後に停止します。
- ●AI検知設定時(p.42)は作動しません。

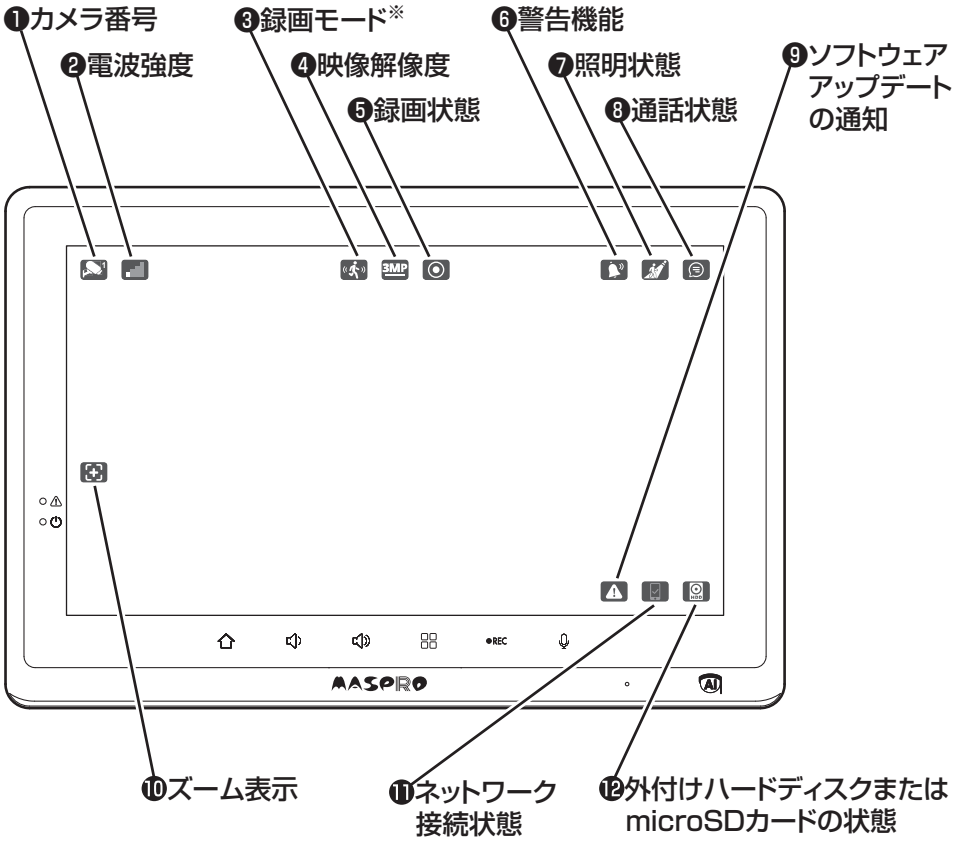
スケジュール録画　：常に録画します。
- ●録画モード画面（上記）で録画する時間帯を設定します。
- ●スケジュール録画中にもAI検知(p.42)は作動します。

マニュアル録画　：手動で録画します。
- ●録画方法
  1.モニター画面の(p.27参照)をタップする
  （アイコンが赤色に変わり録画を開始します）
  2.をタップする
  （アイコンが白色に変わり録画を停止します）
- ●モーション検知録画中、AI検知録画中にも作動します。
  スケジュール録画中は作動しません。

ご注意
- ●microSDカード、または外付けハードディスクを取外すときは、右下のストレージアイコン(または)をタップ後に「YES」をタップしてから取外してください。
- ●録画中にモニターの電源をOFFにしないでください。データの損失や機器の故障の原因となります。
- ●モニターに、microSDカードを挿入し、外付けハードディスクを接続している場合、外付けハードディスクへの録画を優先して行います。
- ●モニターの電源をOFFにすると録画機能は作動しません。
  （録画モードの設定は継続されます）

以上で初期設定は終了です

モニター画面のアイコンについて 操作する



❶カメラ番号

カメラ番号を表示します。

(青枠):カメラの映像と音声を出力

(黒枠):カメラの映像のみ出力

●詳しい内容は「カメラの映像・音声を切換える」(p.29)をご覧ください。

❷電波強度

モニターが受信している電波の強さを表示します。

●良好に利用できる目安は3本以上です。

❸録画モード※

録画方法を表示します。

:モーション検知録画

:スケジュール録画

:マニュアル録画

:AI検知録画(人)

:AI検知録画(車)

:AI検知録画(人・車)

❹映像解像度

カメラの映像解像度を表示します。

3MP:3MP(2304H×1296V)

Full HD:Full HD(1920H×1080V)

HD:HD(1280H×720V)

※ 録画待機中は表示されません。

❺録画状態

録画状態を表示します。

(赤色)：録画中

(白色)：録画停止中

●マニュアル録画(手動録画)をすることができます。

《録画方法》

をタップする
(アイコンが赤色に変わり録画を開始します)

をタップする
(アイコンが白色に変わり録画を停止します)

❻警告機能

警告状態を表示します。

(赤色)：警告音出力中

(白色)：警告音停止中

●アイコンをタップすることで手動操作をすることができます。

●詳しい内容は「警告音の設定」(p.53)をご覧ください。

❼照明状態

照明状態を表示します。

(赤色)：点灯中

(白色)：消灯中

●アイコンをタップすることで手動操作することができます。

●詳しい内容は「センサーライトの設定」(p.39)をご覧ください。

❽通話状態

通話状態を表示します。

(赤色)：通話機能有効

(白色)：通話機能無効

●トークボタンを押している間、通話機能が有効になります。

●詳しい内容は「モニターからカメラに通話する」(p.31)をご覧ください。

❾ソフトウェアアップデートの通知

更新可能なソフトウェアがある場合に表示します。

アイコンをタップすると更新画面に移動します。

●詳しい内容は「ソフトウェアアップデートをする」(p.58)をご覧ください。

❿ズーム表示

映像をズーム表示します。

●詳しい内容は「カメラの映像をズーム表示する」(p.30)をご覧ください。

⓫ネットワーク接続状態

ネットワークとの接続状態を表示します。

(緑色)：スマートフォン・タブレットと接続中

(黄色)：インターネットに接続中(スマートフォン・タブレットとの通信なし)

(赤色)：インターネットに未接続

非表示　：有線LANが未接続

⓬外付けハードディスクまたはmicroSDカードの状態

モニターのUSB端子に接続された外付けハードディスク、またはmicroSDカード挿入口に挿入されたmicroSDカードの状態を表示します。

(白色)：ハードディスク接続中

(白色)：microSDカード挿入中

(赤色)：ハードディスクの空き容量なし

(赤色)：microSDカードの空き容量なし

：ハードディスク未接続、およびmicroSDカード未挿入

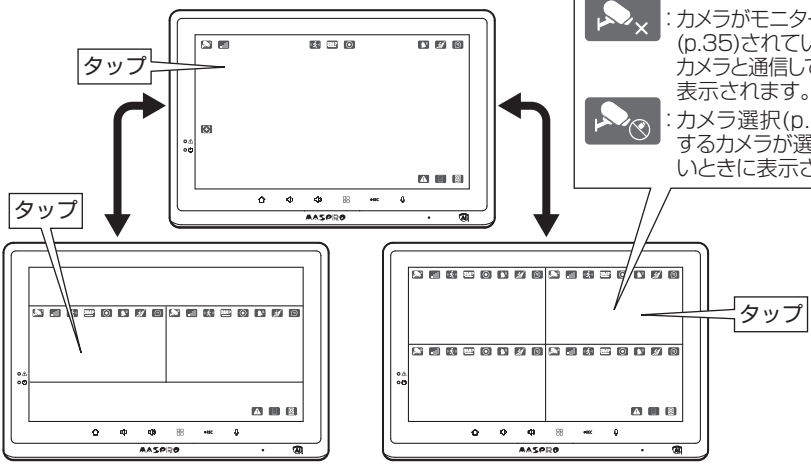
カメラの映像・音声を切換える　操作する

カメラ映像の切換え

カメラを2台以上接続している場合、画面を分割して表示できます。

ご注意	カメラ選択の設定を変更しないと、カメラを2台以上接続していても分割表示できません。分割表示する場合は、「表示するカメラを選択する」(p.36)を行なってください。

モニター画面をタップします。
●タップするたびに画面表示が切換わります。



画面表示について

: カメラがモニターにペアリング(p.35)されていない、またはカメラと通信していないときに表示されます。

: カメラ選択(p.36)で、表示するカメラが選択されていないときに表示されます。

2分割画面
●カメラを2台接続している場合

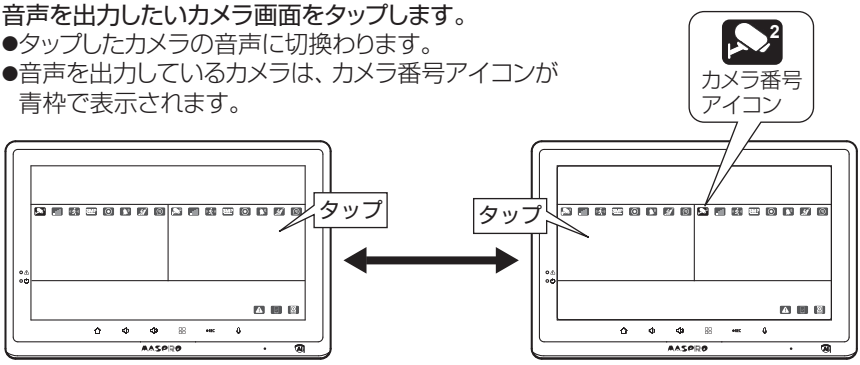
4分割画面
●カメラを3台または4台接続している場合

選択中のカメラ(映像と音声を出力しているカメラ)をタップすると分割表示を解除します。

カメラ音声の切換え

画面を分割表示しているとき、音声を出力するカメラを切換えます。

音声を出力したいカメラ画面をタップします。
●タップしたカメラの音声に切換わります。
●音声を出力しているカメラは、カメラ番号アイコンが青枠で表示されます。



カメラの映像をズーム表示する　操作する

表示しているカメラ映像の一部を拡大表示します。

① (ズームアイコン)をタップする

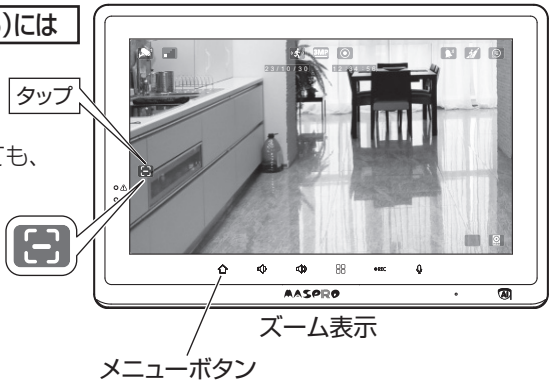


② 5つのエリアからズーム表示したいエリアをタップする
●タップしたエリアがズーム表示されます。



元の画面に戻す(ズーム表示を解除する)には

をタップする
●元の表示に切換わります。
●モニターの「メニューボタン」を押しても、元の表示に戻ります。



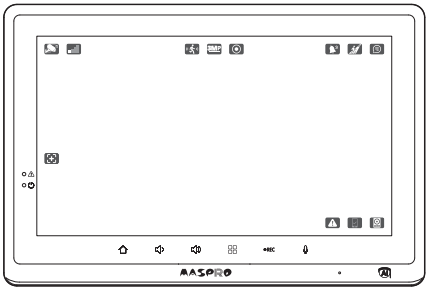
ご注意	●録画中にズーム表示しても、ズーム表示していない状態での映像を録画します。 ●録画した映像はズーム表示できません。

モニターからカメラに通話する　操作する

ご注意	通話機能は、付属のカメラおよび当社製品**WC3B-BCL**(増設カメラ)で使用できます。

モニターからカメラのスピーカーを通じて通話することができます。

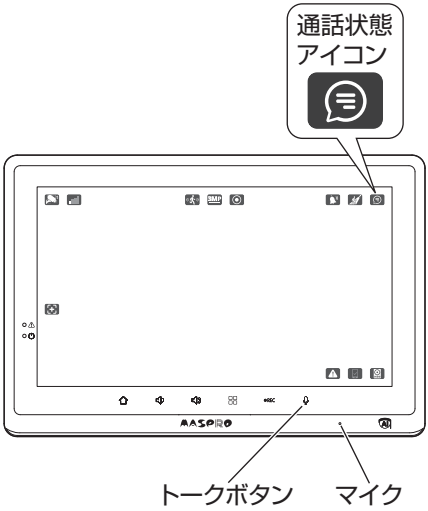
① 通話したいカメラを1画面表示する



② モニターのトークボタンを押す。
- ●押している間、通話機能が有効になります。トークボタンを離すと、通話機能が無効になります。

③ トークボタンを押している間に、モニターのマイクに向かって話すことで、モニターからカメラへ通話することができます。
- ●通話状態アイコンが赤色に変わります。

④ トークボタンを離すと、カメラからの音声が聞こえます。
- ●同時通話には対応していません。



ご注意	●トークボタンを押している間は、モニターのスピーカーが無効になります。 そのため、カメラからの音声や警告音は出力されません。 ●カメラのスピーカーの音量をモニターで調整することはできません。 ●分割表示中、およびズーム表示中は通話できません。 ●トークボタンを押している間は、録画は通常通り、音声付き映像が録画されます。

カメラの音量を調整する

操作する

モニターから出す音量を調整します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「音量」をタップする
●音量画面が表示されます。

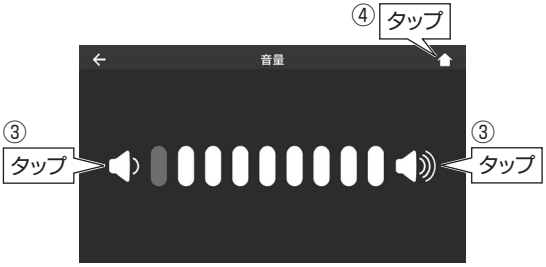


メニュー画面

③ または をタップして
音量を調整する

	: 音量が小さくなります
	: 音量が大きくなります

④ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に
戻ります。



音量画面

ご注意	●カメラとモニターが近くに設置されていたり、音量が大きかったりすると、ハウリング現象が起こりやすくなります。カメラとモニターを離したり、音量を下げたりして、ハウリング現象が起こらないようにしてください。 ●音量を大きくすると、ノイズ音が大きく聞こえる場合があります。 ●モニターから出す音量を調整しても、警報音の音量は変わりません。警報音量の設定については、「警報音量の設定」(p.52)をご覧ください。

録画したカメラの映像を見る

操作する

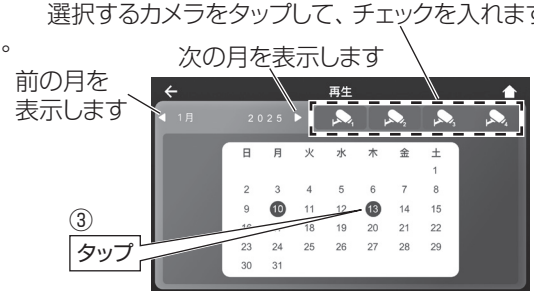
① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「再生」をタップする
●日付選択画面が表示されます。



メニュー画面

③ 再生したい日付をタップする
●録画モード選択画面が表示されます。



日付選択画面



録画モード選択画面

④ 再生したい録画モードをタップする
●選択した録画モードにチェックが入ります。
●録画ファイル選択画面(p.34)表示時に、
選択した録画モードのみが表示されます。

> スケジュール：
> スケジュール録画中に人または車をAI検知した場合は、スケジュールで検索されません。人検知または車検知で検索してください。

⑤ 時間範囲を設定する場合、
「時間範囲選択」をタップする
●録画ファイル選択画面(p.34)表示時に、
選択した時間範囲のみが表示されます。

⑥ ✓ をタップする
●録画ファイル選択画面(p.34)が表示されます。

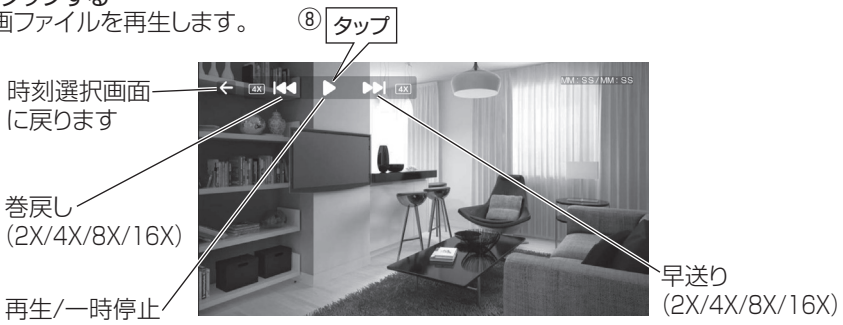


⑦ 再生したい録画ファイルをタップする
●再生画面が表示されます。

録画ファイル選択画面



⑧ ▶をタップする
●録画ファイルを再生します。



操作画面で映像が見にくい場合は、画面中央をタップすることで、操作画面を消去したり表示したりすることができます。

2台以上使用する場合(ペアリング設定) 詳細設定

●カメラを追加する場合、カメラとモニターのペアリング設定をします。
●カメラの設置前に、ペアリング設定することをお勧めします。

ご注意 増設カメラは、当社製品をご利用ください。
対応しているカメラの最新情報は、当社ホームページをご覧ください。

① 追加するカメラの電源を入れる
●ACアダプターをACコンセントに差込みます(p.15)

② モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.23)

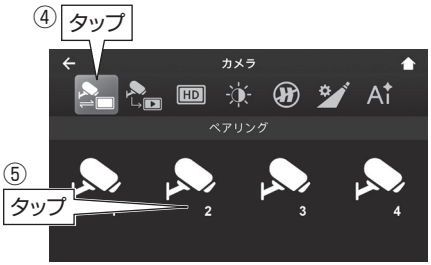
③ 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

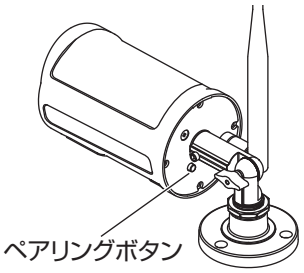
④ (ペアリング)をタップする

⑤ 登録したいカメラ番号をタップする
●2台目を登録する場合、「2」をタップします。
●が表示されます。



カメラ設定画面

⑥ 20秒以内にカメラのペアリングボタンを押す
●先端の鋭利なもので押さないでください。故障の原因となります。
●カメラの電源表示灯が点滅します。
●ペアリングボタンの位置については、増設カメラの取扱説明書をご覧ください。



⑦ 設定が成功すると、カメラ映像が表示されます
●設定が失敗すると×が表示されます。
再度、設定をやり直してください。

ご注意 すでにペアリング済のカメラ番号をタップしてペアリングすると、前のカメラ番号のペアリングが消えます。

表示するカメラを選択する

詳細設定

●複数のカメラを登録しているときに、表示するカメラを選択します。
●2台以上選択すると、画面を分割してモニターに表示することもできます。(p.29)

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



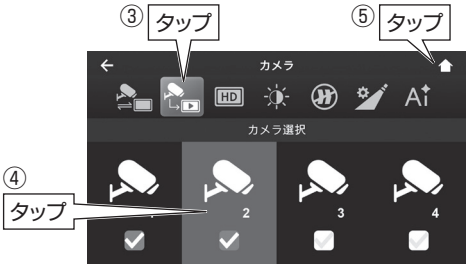
メニュー画面

③ (カメラ選択)をタップする

④ 表示するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに ☑、☐が切換わります。

☑:表示する
☐:表示しない

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



カメラ設定画面

映像解像度の設定、明るさの設定 詳細設定

映像解像度の設定

カメラの映像解像度をカメラごとに設定できます。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



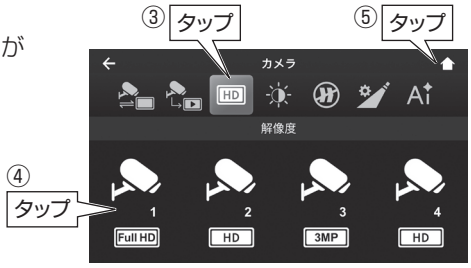
メニュー画面

③ HD (解像度)をタップする

④ 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに「HD」、「3MP」、「FHD」が
切換わります。
●出荷時は「HD」に設定されています。

HD	：1280H×720V
FHD	：1920H×1080V
3MP	：2304H×1296V

⑤ ⌂ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



カメラ設定画面

明るさの設定

カメラ映像の明るさをカメラごとに設定できます。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (映像の明るさ)をタップする

④ 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに明るさが、8段階で切換わります。
●出荷時は明るさ「4」に設定されています。

明るい ⟷ 暗い

⑤ ⌂ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



カメラ設定画面

フリッカー防止の設定

詳細設定

ご利用の地域に合わせて、電源の周波数を設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。

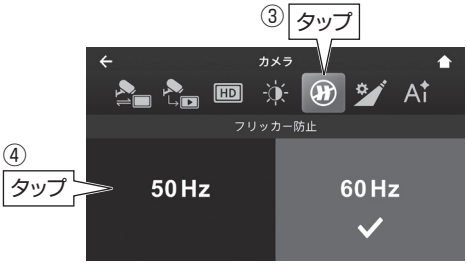


メニュー画面

③ (フリッカー防止)をタップする

④ ご利用の地域の周波数をタップする
●確認画面が表示されます。
●出荷時は「60Hz」に設定されています。

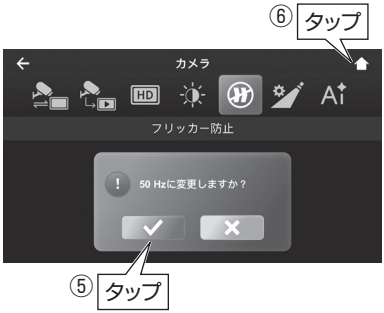
50Hz：東日本 60Hz：西日本



カメラ設定画面

⑤ をタップする
●設定を保存します。

⑥ をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



センサーライトの設定

詳細設定

ご注意 センサーライトは、付属のカメラおよび別売の増設カメラ**WC3B-BCL**で使用できます。

モーション・AI検知時に可視光線LED（センサーライト）を点灯できます。
（明所では点灯しません）
モニターを使用して、手動で点灯することもできます。（p.41参照）

明るさの設定

センサーライトの明るさを設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (センサーライト設定)をタップする

④ (明るさ)をタップする
●センサーライトの明るさ画面が表示されます。



カメラ設定画面

⑤ 設定するカメラ番号（1～4）をタップする
●タップするたびに明るさが切換わります。
●出荷時は「75%」に設定されています。

100% 75% 50% 25%
明るい ⟷ 暗い

⑥ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



センサーライトの明るさ画面

点灯時間の設定

センサーライトの点灯時間を設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (センサーライト設定)をタップする

④ 点灯時間 (点灯時間)をタップする
●センサーライト点灯時間画面が表示されます。



カメラ設定画面

⑤ 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに点灯時間(30秒、1分、3分、5分)
が切換わります。
●出荷時は「30秒」に設定されています。

⑥ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



センサーライト点灯時間画面

センサーライトの設定 つづき

モーション・AI検知連動の設定

センサーライトをモーション･AI検知と連動して点灯するか、点灯しないかを設定します。
- ●録画の設定に関係なく、モーション・AI検知連動の設定ができます。
- ●明所では、モーション・AI検知しても、センサーライトは点灯しません。
- ●モーション検知設定の場合、モーション検知時に録画を開始して、同時にセンサーライトを点灯します。
- ●AI検知設定の場合、AI検知時に録画を開始しますが、同時にセンサーライトは点灯しません。センサーライトは赤外線人感センサーが検知した場合に点灯します。

① モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
- ●カメラ設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (センサーライト設定)をタップする

④ 検知連動 (検知連動)をタップする
- ●モーション・AI検知連動画面が表示されます。



カメラ設定画面

⑤ 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
- ●タップするたびに設定(ON、OFF)が切換わります。
- ●出荷時は「ON」に設定されています。

⑥ をタップする
- ●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



モーション・AI検知連動画面

カメラのセンサーライトを手動で点灯/消灯する

モニター画面を使用してセンサーライトを点灯/消灯します。

モニター画面の をタップする

- ●タップするたびに (点灯：赤色)と (消灯：白色)が切換わります。

AI検知の設定

詳細設定

人と車のAI検知を設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「カメラ」をタップする
●カメラ設定画面が表示されます。

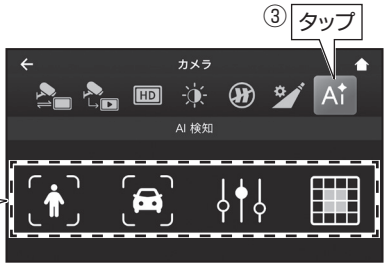


メニュー画面

③ AI(AI検知)をタップする

④ 設定する項目をタップする

人検知	:「人検知の選択」(下記)へ
車検知	:「車検知の選択」(下記)へ
AI検知感度	:「AI検知感度の設定」(p.43)へ
検知エリア	:「検知エリアの設定」(p.43)へ



AI検知画面

人検知の選択

「ON」に設定すると、人を検知します。

① 「AI検知画面」(上記)で (人検知)をタップする
●人検知画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに設定(ON、OFF)が切換わります。
●出荷時は「OFF」に設定されています。

③ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



人検知画面

車検知の選択

「ON」に設定すると、車を検知します。

① 「AI検知画面」(上記)で (車検知)をタップする
●車検知画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに設定(ON、OFF)が切換わります。
●出荷時は「OFF」に設定されています。

③ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



車検知画面

AI検知の設定 つづき

AI検知感度の設定

AI検知感度を設定します。

① 「AI検知画面」(p.42)で (AI検知感度)をタップする
- AI検知感度画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
- タップするたびに検知感度が切換わります。
- 出荷時は「中」に設定されています。

:検知感度 高
:検知感度 中
:検知感度 低

③ をタップする
- 設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



AI検知感度画面

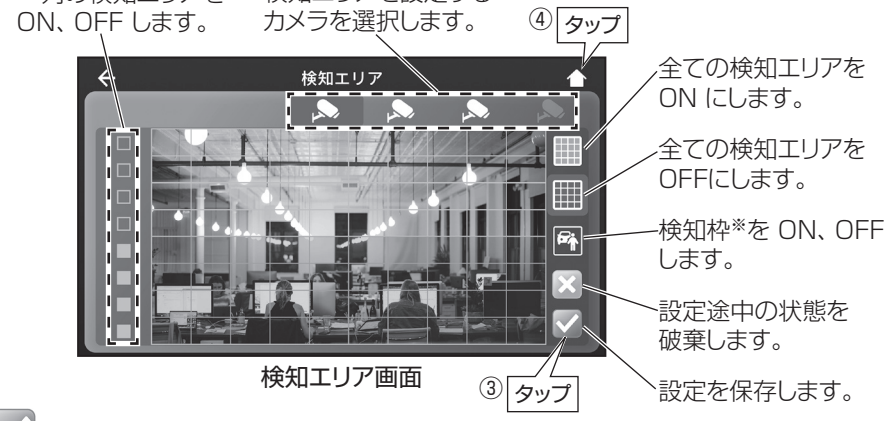
検知感度を「高」に設定すると、見逃しは減りますが、誤検知が増えます。
検知感度を「低」に設定すると、誤検知は減りますが、見逃しが増えます。

検知エリアの設定

AI検知エリアを設定します。

① 「AI検知画面」(p.42)で (検知エリア)をタップする
- 検知エリア画面が表示されます。

② 枠をタップして、検知エリアを設定します
- 赤色が検知するエリアです。
- 検知したくない場所や誤検知する場所を、検知エリアから外してください。



検知エリア画面

③ をタップする
- 設定を保存します。

④ をタップする
- カメラ映像画面に戻ります。

※検知枠とは、人や車を検知したときに表示される枠です。

AI検知の設定 つづき

AI検知を設定したときの録画作動について

AI検知録画は、録画方法がモーション検知録画、またはスケジュール録画のときに作動します。

●マニュアル録画設定時は、AI検知録画が作動しません。

録画方法：モーション検知録画のとき

●AI検知の設定で、人検知と車検知を「OFF」に設定すると、モーション検知（人感センサーで検知）したとき、録画を開始します。

●人検知または車検知を「ON」に設定すると、人または車を検知したときのみ、録画を開始します。（モーション検知では作動しません）

《モニター画面・再生画面の録画モード（アイコン表示）について》

AI検知の設定		条件	録画モード（アイコン表示）
人検知	車検知		
OFF	OFF	モーション検知した場合	
ON	OFF	人検知した場合	
OFF	ON	車検知した場合	
ON	ON	人・車検知した場合	

録画方法：スケジュール録画のとき

●AI検知の設定で、人検知と車検知を「OFF」に設定すると、スケジュール録画で録画を開始します。

●人検知または車検知を「ON」に設定すると、スケジュール録画中にAI検知した再生画面にAI検知アイコンを表示します。
（スケジュール録画中にAI検知してもモニター画面のアイコン表示は変わりません）

《再生画面の録画モード（アイコン表示）について》

AI検知の設定		条件	録画モード（アイコン表示）
人検知	車検知		
OFF	OFF	—	
ON	OFF	人検知した場合	
OFF	ON	車検知した場合	
ON	ON	人・車検知した場合	

モーション検知感度の設定、録画時間の設定 詳細設定

モーション検知感度の設定

モーション検知録画するときの検知感度を設定します。
●AI検知の設定で、人検知または車検知を「ON」に設定すると、モーション検知は作動しません。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。

③ (モーション検知感度)をタップする

④ 設定するカメラ番号(1～4)をタップする
●タップするたびに検知感度が切換わります。
●出荷時は「中」に設定されています。

:検知感度 高
:検知感度 中
:検知感度 低

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面



録画設定画面

録画時間の設定

録画ファイルの1ファイルの最大録画時間を設定します。
設定した時間を過ぎた時点で録画ファイルを保存し、録画ファイルが分割されていきます。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。

③ (録画時間)をタップする

④ 設定する録画時間(5分、10分、15分)をタップする
●出荷時は「5分」に設定されています。

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

ご注意	●録画は最後のモーション・AI検知から30秒後に停止します。 ●モーション・AI検知が連続した場合、およびマニュアル録画の場合、5分、10分、または15分の録画ファイルに分割して保存されます。



メニュー画面



録画設定画面

microSDカード・外付けハードディスクの初期化 詳細設定

モニターに挿入されているmicroSDカード、またはモニターに接続している外付けハードディスクを初期化(フォーマット)します。

ご注意 モニターに、microSDカードを挿入し、外付けハードディスクを接続している場合、外付けハードディスクの初期化を優先して行います。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

③  または  (録画管理)をタップする

④ 「初期化」をタップする
●初期化画面が表示されます。

 :microSDカードを初期化
 :外付けハードディスクを初期化



録画設定画面

⑤  をタップする
●初期化を開始します。
●初期化には10分程度かかることがあります。

 : 初期化を開始
 : 初期化を中止

⑥ 初期化が終了したら、 をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。
●初期化に失敗した場合、再度、④の手順からやり直してください。



初期化画面

ご注意 モニター単体では、microSDカードと外付けハードディスクの、録画データのコピー・編集などを行うことができません。パソコンなどの市販ソフトをご利用ください。

上書き録画の設定

詳細設定

録画に使用しているmicroSDカード、または外付けハードディスクの空き容量がなくなったときに、録画ファイルを上書き録画するか、上書き録画しないかを設定します。出荷時は「上書き録画する」に設定されています。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「録画」をタップする
●録画設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ 

または 

(録画管理)をタップする



録画設定画面

④ 画面右側をタップして、上書き録画の設定を変更する
●タップするたびに「上書き録画する」、「上書き録画しない」が切換わります。
●出荷時は「上書き録画する」に設定されています。

上書き録画する	：microSDカード、または外付けハードディスクの空き容量がなくなったときに、日付の古いデータを消去しながら、新しいデータを記録します。
上書き録画しない	：microSDカード、または外付けハードディスクの空き容量がなくなると録画を停止します。

●画面に表示している項目で設定されます。

⑤  をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

ご注意 「上書き録画する」に設定されていても、microSDカード、外付けハードディスクは、定期的に初期化してください。

パワーセーブ(モニター表示ON/OFF)の設定 詳細設定

一定時間操作していないとき、設定した時間後に、モニターの表示を自動的にOFFにします。
パワーセーブ機能が作動したときは、モニター画面をタップして表示してください。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。

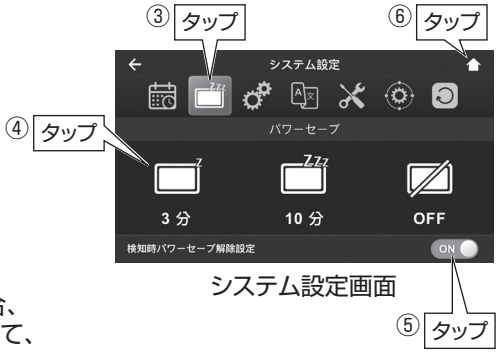


メニュー画面

③ (パワーセーブ)をタップする

④ 設定する時間をタップする
●出荷時は「3分」に設定されています。

3分	：3分後にモニター OFF
10分	：10分後にモニター OFF
OFF	：パワーセーブ機能は作動しません



システム設定画面

⑤ 検知時にパワーセーブ機能を解除する場合、
「検知時パワーセーブ解除設定」をタップして、
「ON」にする
●「ON」に設定すると、検知時に、設定した時間
パワーセーブを解除します。
●出荷時は「OFF」に設定されています。

⑥ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

ご注意 パワーセーブ機能が作動して、モニター表示がOFFになっても、録画は継続して行われます。

表示言語の変更

詳細設定

モニターに表示する言語を変更します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (言語)をタップする

④ 設定する言語をタップする

日本語	：日本語
English	：英語

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



システム設定画面

初期値（工場出荷時の状態）に戻す 詳細設定

●設定を最初からやり直す場合、設定を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。
●初期値に戻しても、ペアリング設定（p.35）、日時設定（p.24）、録画ファイルは、変更・削除されません。

ご注意 カメラを2台以上使用する場合、カメラ選択の設定を変更しないと、すべてのカメラ映像を表示できません。「表示するカメラを選択する」（p.36）の設定を変更してください。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する（p.23）

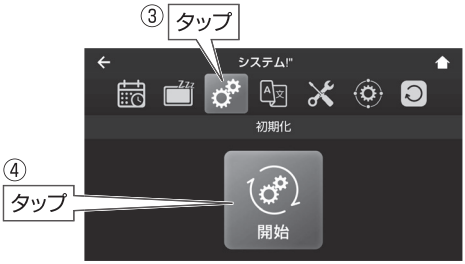
② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ （初期化）をタップする

④ （開始）をタップする
●確認画面が表示されます。



システム設定画面

⑤ をタップする
●初期化を開始します。
●初期化が完了すると、システム設定画面に戻ります。

: 初期化を開始
: 初期化を中止



確認画面

⑥ をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



警報音の設定

詳細設定

モーション・AI検知したとき、およびカメラとモニターの接続が切れたときの、警報音とお知らせ表示灯の作動をそれぞれ設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ 設定する警報の種類をタップする

(モーション・AI警報)：モーション・AI検知したときの警報音※1
(アンリンク警報)：カメラとモニターの接続が切れたときの警報音

※1 スケジュール録画中でも、本設定は反映されます。



警報設定画面

お知らせ表示灯の点灯(点滅)色について

青色点灯：モーション・AI検知
青色点滅：アンリンク(カメラの電波が届かない)

●お知らせ表示灯はモニター左側にあります。(p.13)

④ 設定する警報音(1～ 3または×)をタップする

♪1：パターン1(ピッ)
♪2：パターン2(ピッ、ピッ)
♪3：パターン3(ピッ、ピッ、ピッ)
♪×：警報音を鳴らさない※2

※2 「警報音を鳴らさない」に設定した場合、お知らせ表示灯(p.13)も点灯しません。



⑤ ⌂ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

ご注意
繰返し間隔を「OFF(1回のみ)」に設定した場合は、お知らせ表示灯が青色点灯した後にモーション・AI検知しても、モニター画面をタップして、お知らせ表示灯を消さないと警報音は鳴りません。

警報音の停止方法

●警報音を止めるには、モニター画面をタップしてください。
●「パワーセーブ(モニター表示ON/OFF)の設定」(p.48)を「3分」または「10分」に設定している場合、パワーセーブ機能の作動中は、警報音が鳴っても、モニター表示はONになりません。

警報音量の設定、警報音の繰返し間隔の設定 詳細設定

警報音量の設定

モニターからの警報音量を設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。

③ (警報音量)をタップする

④ 設定する警報音量をタップする

	:音量 小
	:音量 中
	:音量 大
×	:警報音を鳴らさない※

※「警報音を鳴らさない」に設定した場合も、
お知らせ表示灯は点灯します。
●お知らせ表示灯はモニター左側にあります。(p.13)

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面



警報設定画面

警報音の繰返し間隔の設定

警報の繰返し間隔を設定します。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。

③ (繰返し間隔)をタップする

④ 設定する繰返し間隔
[OFF(1回のみ)、30秒、1分、毎回]をタップする
●「毎回」は検知するたびに鳴ります。
(検知後、10秒以内に検知したときは鳴りません)
●出荷時は「OFF(1回のみ)」に設定されています。

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

警報音の停止方法

警報音を止めるには、モニター画面をタップ
してください。
警報音を停止するまで、繰返し鳴り続けます。



メニュー画面



警報設定画面

警告音の設定

詳細設定

モーション・AI検知時にカメラのスピーカーから警告音を発報できます。

ご注意 警告音は、付属のカメラおよび別売の増設カメラ**WC3B-BCL**で使用できます。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「警報」をタップする
●警報設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (カメラ警報)をタップする
●カメラ警報画面が表示されます。



警報設定画面

④ 設定する項目をタップする

- 警告音選択 :「警告音の選択」(p.54)へ
- モーション・AI検知連動 :「モーション・AI検知連動の設定」(p.54)へ
- 警告回数 :「警告回数の設定」(p.55)へ
- 警告音量 :「警告音量の設定」(p.55)へ



カメラ警報画面

警告音を手動で発報するには

モニター画面を使用して警告音を発報します。

モニター画面の をタップする
●警告音を発報します。

警告音の設定 つづき

警告音の選択

警告音の種類を選択します。

① 「カメラ警報画面」(p.53)で「警告音選択」をタップする
●警告音選択画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号と同じスピーカー番号(1～4)をタップする。
●タップするたびに警告音が切換わります。
●出荷時は「ピンポーン(チャイム音)」に設定されています。

	:ピンポーン(チャイム音)
	:ワンワン(犬の鳴声)
	:通報しました
◉ REC	:録画を開始しました



警告音選択画面

③ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

モーション・AI検知連動の設定

警告音をモーション・AI検知と連動して発報するか、発報しないかを設定します。
●モーション検知設定の場合、モーション検知時に録画を開始して、同時に警告音を発報します。
●AI検知設定の場合、AI検知時に録画を開始しますが、同時に警告音は発報しません。警告音は赤外線人感センサーが検知した場合に発報します。

① 「カメラ警報画面」(p.53)で「モーション・AI検知連動」をタップする
●モーション・AI検知連動画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号と同じスピーカー番号(1～4)をタップする。
●タップするたびに が切換わります。
●出荷時は「連動して発報しない」に設定されています。

	:連動して発報する
	:連動して発報しない



モーション・AI検知連動画面

③ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

警告音の設定 つづき

警告回数の設定

警告音を発報する回数を設定します。

① 「カメラ警報画面」(p.53)で「警告回数」をタップする
●警告回数画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号と同じスピーカー番号(1～4)をタップする。
●タップするたびに警告回数(1回、3回、5回)が切換わります。
●出荷時は「1回」に設定されています。

1	:警告回数 1回
3	:警告回数 3回
5	:警告回数 5回



警告回数画面

③ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

警告音量の設定

警告音の音量を設定します。

① 「カメラ警報画面」(p.53)で「警告音量」をタップする
●警告音量画面が表示されます。

② 設定するカメラ番号と同じスピーカー番号(1～4)をタップする。
●タップするたびに警告音量が切換わります。
●出荷時は「中」に設定されています。

	:音量 小
	:音量 中
	:音量 大



警告音量画面

③ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。

定時メンテナンスの設定

詳細設定

設定した時間にモニターのメンテナンスを行います。

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

③ (定時メンテナンス)をタップする

④ 定時メンテナンスを行う時間をタップする
●タップするたびに設定(ON、OFF)が切換わります。
●出荷時は「OFF」に設定されています。

⑤ をタップする
●設定を保存して、カメラ映像画面に戻ります。



システム設定画面

ご注意	定時メンテナンスを「ON」にすると、メンテナンス中は約30秒、カメラ映像と録画が停止します。

ネットワーク情報の確認・IP設定の変更 詳細設定

ネットワーク情報の確認をしたり、手動でIPアドレスの設定をしたりすることができます。

ネットワーク情報の確認

① モニターの「メニューボタン」を押し
メニュー画面を表示する(p.23)

② 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。

③ (ネットワーク)をタップする
●ネットワーク情報が表示されます。

④ をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



メニュー画面

ご注意

IPアドレスなどのネットワーク情報が表示されないときや、正しく設定されていないときは、インターネットに接続できません。

IP 設定	情報
IP State:	DHCP
IP Address:	000.000.000.000
Subnet Mask:	000.000.000.000
Default Gateway:	000.000.000.000
MAC Address:	00-AA-BB-CC-DD-EE
UID:	123459789123456789
Password	12345



システム設定画面

IP設定の変更

① 上記①～③を行う

② 「IP設定」をタップする
●初期値は「DHCP」でインターネット回線のルーターから割り振られたIPアドレスになっています。
●通常は「DHCP」のままにしてください。

③ 固定IPアドレスで使用する場合、
「Static IP」をタップし、各項目を入力する



DHCP	:DHCPを使用する場合に選択します(初期値)
Static IP	: 固定IPアドレスで使用する場合に選択します
IPアドレス	: IPアドレスを設定します
Subnet Mask	: サブネットマスクを設定します
Default Gateway	: デフォルトゲートウェイを設定します

④ をタップする
●設定を保存すると再起動して、カメラ映像画面に戻ります。

ソフトウェアアップデートをする 詳細設定

●最新のソフトウェアが提供されている場合、ソフトウェアアップデートを行います。
●モニターがインターネット回線に接続されていれば、新しいバージョンのソフトウェアを自動で検知します。[モニター画面に ⚠ のアイコンが表示されます(p.27)]

ご注意	●アップデート中は、本機の操作をしたり、電源をOFFにしたりしないでください。モニター故障の原因となります。 ●録画中の場合、録画を停止してからアップデートを行なってください。 ●IPv6インターネット接続には対応していません。

① モニターをインターネット回線に接続する (p.59)

② モニターの「メニューボタン」を押しメニュー画面を表示する(p.23)

③ 「システム設定」をタップする
●システム設定画面が表示されます。



メニュー画面

④ (ソフトウェアアップデート)をタップする

: 最新のソフトウェアが提供されている場合
: 現在のソフトウェアが最新の場合



システム設定画面

⑤ をタップする
●アップデートを開始します。
●アップデートには数分かかります。
●アップデートが完了すると、自動で再起動します。

⑥ 上記①～④を行い、右記表示になっていることを確認する

⑦ をタップする
●カメラ映像画面に戻ります。



スマートフォンの設定をする

スマートフォンで映像を見る

モニターをネットワークに接続することで、スマートフォン･タブレット用のアプリから、カメラの映像を見ることができます。パソコンから見ることはできません。

ご注意

- ●1台のスマートフォン用アプリにモニターは4台まで登録できます。1台のモニターに同時にアクセスできるスマートフォンは3台までですが、ネットワーク環境により、カメラ映像の画質が落ちたり、接続できなくなったりすることがあります。
- ●録画ファイルの再生は、1台のスマートフォン･タブレットのみで行うことができます。同時に複数台での、録画ファイルの再生はできません。また、モニターで録画ファイルを再生しているときは、スマートフォン・タブレットからは再生できません。
- ●IPv6インターネット接続には対応していません。
- ●スマートフォン・タブレットは、一部対応していない機種があります。すべての機器の作動を保証するものではありません。
- ●OSのアップデートなどにより、一時的に使用できなくなることがあります。

設定の前に

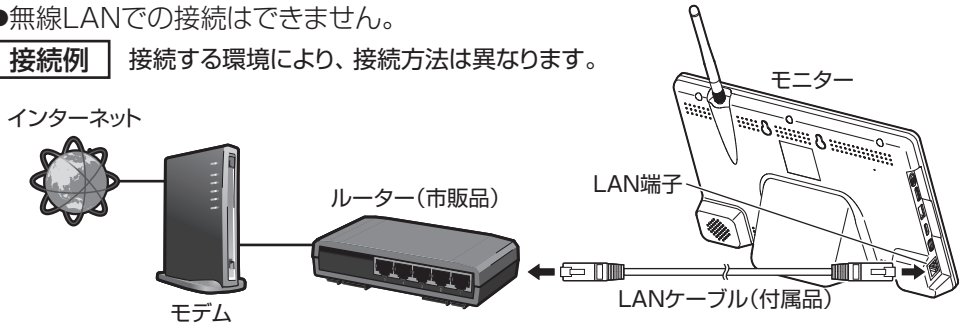
この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

1. インターネット回線に接続する

モニター側面のLAN端子とルーターを付属のLANケーブルで接続します。

●無線LANでの接続はできません。

接続例 接続する環境により、接続方法は異なります。



ご注意

- ●無線LANルーターを使用している場合、他のWi-Fi機器と電波干渉することがあります。本機とWi-Fi機器はできるだけ離して使用してください。
- ●「ネットワーク情報の確認」(p.57)より、モニターにIPアドレスが正常に設定されていることを確認してください。IPアドレスが設定されていない場合は、スマートフォン・タブレットから映像を見ることができません。
- ●IPアドレスの設定がわからない場合は、ルーターの取扱説明書をご確認いただくか、ご契約のインターネットプロバイダーにご確認ください。

2. アプリをインストールする

iPhone/iPadの場合

App Storeから「iHomeCam」を検索し、インストールする

●iPadで検索する場合、iPhone用のアプリから検索してください。

●インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。

Androidの場合

Google Playから「iHomeCam」を検索し、インストールする

●インストールが完了すると、アイコンがホーム画面に作成されます。

3. デバイス(カメラ)の追加をする

●スマートフォンのバージョンにより表示される画面が異なる場合があります。
●追加できるデバイスは、最大4つまでになります。

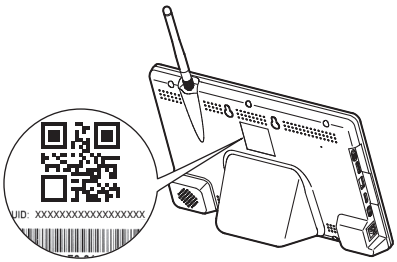
iPhone/iPadの場合

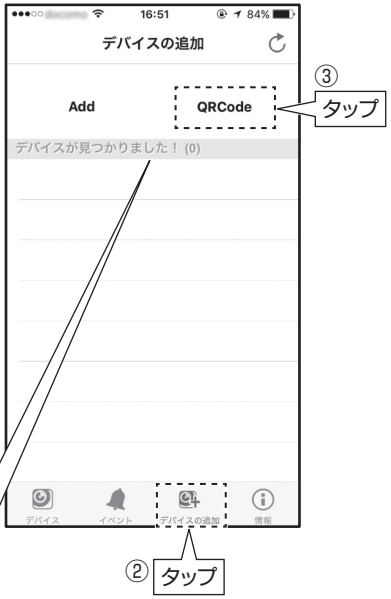
① 「iHomeCam」アプリのアイコンをタップする



② (デバイスの追加)をタップする

③ 「QRCode」をタップして
モニター背面にある「QRコード」を読取る





QRコードが読取れない場合

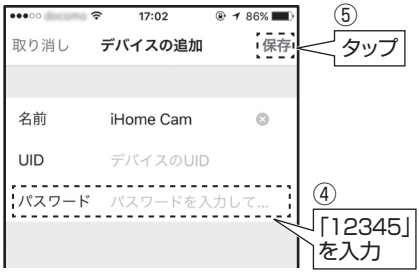
「Add」をタップし、QRコードの下に記載してある「UID」を手動で入力してください。

「デバイスが見つかりました !」の下に、スマートフォンと同一ネットワーク上にあるモニターのUIDが表示されます。
表示されているUIDをタップしてデバイスを追加することもできます。

④ パスワードに「12345」(初期値)を入力する
●パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。
「ネットワーク情報の確認」(p.57)をご覧ください。

⑤ 「保存」をタップする

●「名前」の項目は、名称を変更することができます。



モーション・AI検知時のiPhone・iPadへの通知について

iPhone・iPadのホーム画面にある「設定」から、「iHomeCam」の通知設定を、ONまたはOFFに設定できます。
通知の表示は、お使いのスマートフォン・タブレットにより異なります。

スマートフォンの設定をする っづき

Androidの場合

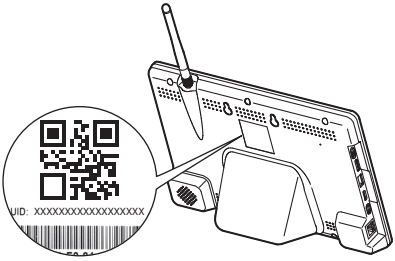
① 「iHomeCam」アプリのアイコンをタップする



② 「クリックしてカメラを追加」をタップする



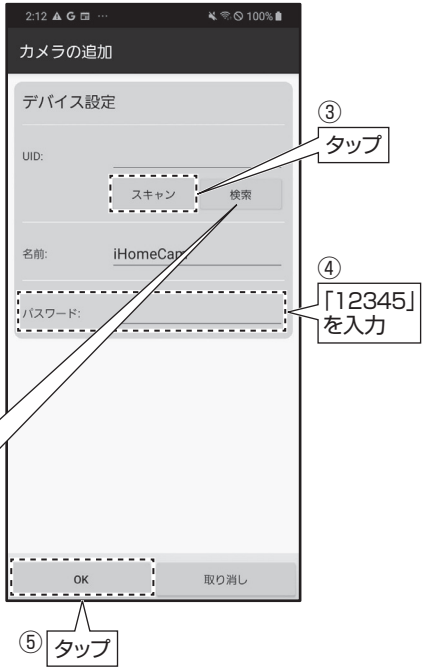
③ 「スキャン」をタップして
モニター背面にある「QRコード」を読取る



QRコードが読取れない場合

「UID」の欄に、QRコードの下に記載してある「UID」を手動で入力してください。

「検索」をタップすると、スマートフォンと同一ネットワーク上にあるモニターのUIDを検索することもできます。



④ パスワードに「12345」(初期値)を入力する

●パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。
「ネットワーク情報の確認」(p.57)をご覧ください。

⑤ 「OK」をタップする

●「名前」の項目は、名称を変更することができます。

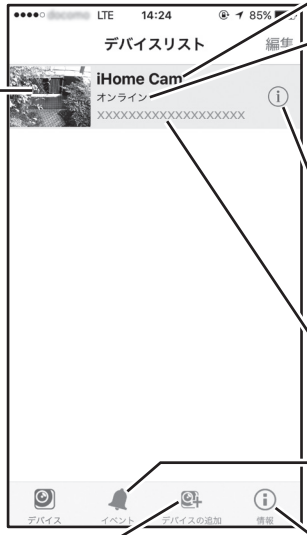
モーション・AI検知のスマートフォン・タブレットへの通知について

スマートフォン・タブレットのホーム画面にある「設定」から、「iHomeCam」の通知設定を、ONまたはOFFに設定できます。
通知の表示は、お使いのスマートフォン・タブレットにより異なります。

表示内容と操作方法(iPhone/iPad)

スマートフォンで映像を見る

《デバイスリスト画面》



タップ

デバイス名

カメラとの接続状態

「オンライン」: 接続済みです。カメラ映像を見られます。
「接続中です」: 接続中です。
「接続できませんでした」: カメラと接続されていません。
・ⓘをタップし、「接続ステータス」をタップして、再接続してください。
「未知のデバイス」: インターネットに接続していません。
・LANケーブルの接続を確認してください。
・モニターの電源を入れ直してください。

デバイスの編集をする

タップすると、デバイスの編集画面(p.63)が表示され、名前の変更や詳細設定ができます。

UID(モニター背面に記載されている番号)

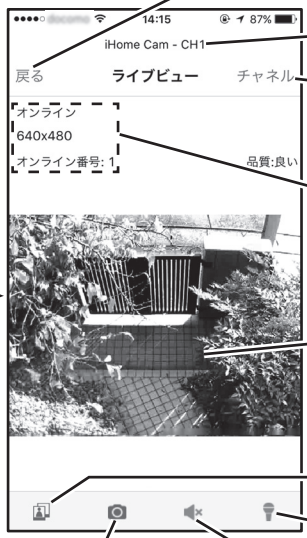
録画した映像を再生する

タップすると、イベント画面(p.64)が表示され、録画した映像を再生できます。

デバイスを追加する

アプリの情報を表示する

《ライブビュー画面》



デバイスリスト画面に戻る

デバイス名・カメラ番号

表示するカメラを切換える

複数のカメラを使用している場合、タップして映像を表示するカメラを切換えます。

カメラ情報

カメラとの接続状態、カメラの解像度、オンライン番号(接続中のスマートフォン・タブレットの数)を表示します。
●スマートフォン・タブレットは同時に3台まで接続できます。

カメラ映像

カメラが現在撮影している映像を表示します。
●カメラを2台以上接続していても、分割画面での表示はできません。

保存した写真を見る

カメラのスピーカーから話しかける

タップするたびに「ON」、「OFF」が切換わります。

現在の画像を保存する

タップすると、画像(静止画)を保存します。

カメラの音声を聞く

タップするたびに「ON」、「OFF」が切換わります。

《デバイスの編集画面》

デバイスリスト画面(p.62)でⓘ(デバイスの編集)をタップすると、表示します。



タップ

デバイスリスト画面に戻る

名前を変更する

変更したい名前を入力します。

パスワード

パスワードの変更を行なった場合、変更後のパスワードを入力します。

●パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」(p.57)をご覧ください。

再接続する

カメラとの接続がオフラインのとき、タップして再接続します。

《詳細な設定画面》



パスワードの変更をする

パスワードを変更する場合、タップして変更します。

●パスワードは記号を含まない5～ 15桁の半角英数にしてください。

●変更したパスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」(p.57)をご覧ください。

カメラの解像度を変更する

タップして、カメラの解像度を変更します。

●高：高画質、低フレームレート
　中：標準画質、標準フレームレート
　低：低画質、高フレームレート

●初期値は「中」になります。

アラーム(警報)間隔を変更する

タップして、アラーム(警報)の間隔を変更します。アラーム(警報)を止めることもできます。

デバイス情報を見る

タップすると、デバイスの情報を見ることができます。

録画した映像を再生する(iPhone/iPad)

スマートフォンで映像を見る

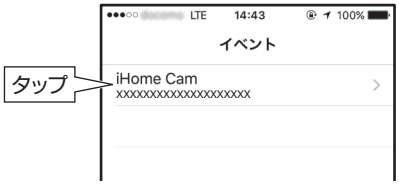
① デバイスリスト画面(p.62)で
(イベント)をタップする
●イベント画面が表示されます

デバイスリスト画面



② 再生したいデバイスをタップする
●イベントリスト画面が表示されます

イベント画面



③ 再生したい録画ファイルをタップする
●録画ファイルが再生されます

イベントリスト画面



条件を絞り込んで検索する場合

「検索」をタップし、検索条件をタップします。
●「カスタム」をタップすると日時を指定できます。

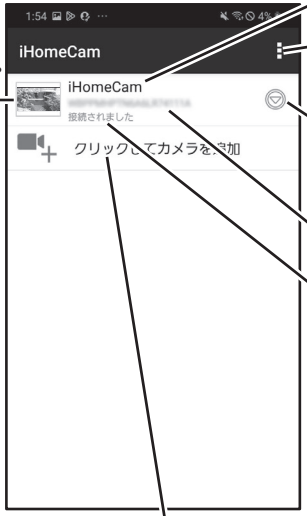
ご注意

- ●録画ファイルの再生は、映像のみで音声は再生されません。
- ●ネットワーク回線の環境によって、再生している映像がコマ送りになったり、遅延したりすることがあります。
- ●録画ファイルの再生は、1台のスマートフォン・タブレットのみで行うことができます。同時に複数台での、録画ファイルの再生はできません。また、モニターで録画ファイルを再生しているときは、スマートフォン・タブレットからは再生できません。
- ●連続して録画ファイルを再生すると、「遠隔録画を再生できません」と表示されることがあります。

表示内容と操作方法（Android）

スマートフォンで映像を見る

《カメラリスト画面》



タップ

カメラ名

メニュー画面

「カメラの追加」、「説明（バージョン情報）」、「終了（アプリの終了）」が行えます。

アドバンス（拡張）機能

「再接続」、「カメラの編集」(p.66)、「イベントの表示」(p.67)、「スナップショットの表示」、「カメラの削除」が行えます。

UID（モニター背面に記載されている番号）

カメラとの接続状態

「接続されました」:接続済みです。カメラ映像を見られます。
「接続中です」: 接続中です。
「接続できませんでした」: カメラと接続されていません。
・(アドバンス機能)をタップし、「再接続」をタップして、再接続してください。
「未知のデバイス」: インターネットに接続していません。
・LANケーブルの接続を確認してください。
・モニターの電源を入れ直してください。

カメラを追加する

《ライブビュー画面》



カメラ名・カメラ番号

表示するカメラを切換える

複数のカメラを使用している場合、タップして映像を表示するカメラを切換えます。

カメラ情報

カメラとの接続状態、カメラの解像度、オンライン件数（接続中のスマートフォン・タブレットの数）、接続品質を表示します。
●スマートフォン・タブレットは同時に3台まで接続できます。

カメラ映像

カメラが現在撮影している映像を表示します。
●カメラを2台以上接続していても、分割画面での表示はできません。

保存した写真を見る

カメラのスピーカーから話しかける

タップするたびに「ON」、「OFF」が切換わります。

現在の画像を保存する

タップすると、画像（静止画）を保存します。

カメラの音声を聞く

タップするたびに「ON」、「OFF」が切換わります。

《カメラの編集画面》

カメラリスト画面（p.65）で◎［アドバンス（拡張）機能］をタップして、「カメラの編集」をタップすると、表示します。



タップ

名前を変更する

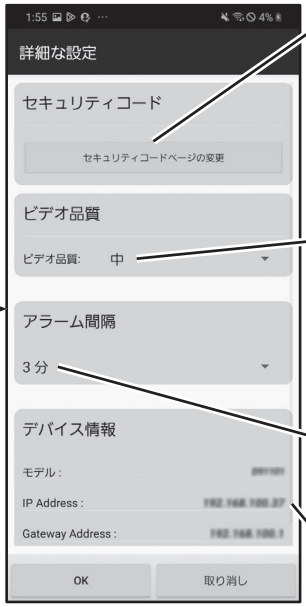
変更したい名前を入力します。

パスワード

パスワードの変更を行なった場合、変更後のパスワードを入力します。

●パスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」（p.57）をご覧ください。

《詳細な設定画面》



パスワードの変更をする

パスワードを変更する場合、タップして変更します。

●パスワードは記号を含まない5～ 15桁の半角英数にしてください。

●変更したパスワードは、モニターのメニュー画面から確認できます。「ネットワーク情報の確認」（p.57）をご覧ください。

カメラの解像度を変更する

タップして、カメラの解像度を変更します。

●高：高画質、低フレームレート
　中：標準画質、標準フレームレート
　低：低画質、高フレームレート

●初期値は「中」になります。

アラーム（警報）間隔を変更する

タップして、アラーム（警報）の間隔を変更します。アラーム（警報）を止めることもできます。

デバイス情報

デバイスの情報を表示します。

録画した映像を再生する（Android）

スマートフォンで映像を見る

① カメラリスト画面（p.65）で
◎［アドバンス（拡張）機能］をタップし「イベントの表示」をタップする
●イベントリスト画面が表示されます

カメラリスト画面



② 再生したい録画ファイルをタップする
●録画ファイルが再生されます

イベントリスト画面



条件を絞り込んで検索する場合

をタップし、検索条件をタップします。
●「カスタム」をタップすると日時を指定できます。

ご注意	●録画ファイルの再生は、映像のみで音声は再生されません。 ●ネットワーク回線の環境によって、再生している映像がコマ送りになったり、遅延したりすることがあります。 ●録画ファイルの再生は、本体または1台のスマートフォン・タブレットのみで行うことができます。同時に複数台での、録画ファイルの再生はできません。また、モニターで録画ファイルを再生しているときは、スマートフォン・タブレットからは再生できません。

故障とお考えになる前に

必要なとき

症状	確認内容	ページ
カメラの映像が出ない	カメラからのACアダプターが抜けていませんか。	15
	モニターに接続するACアダプターが抜けていませんか。	15
	モニターの電源がOFFになっていませんか。	13
	カメラの電源表示灯は点灯していますか。	12
	カメラとモニターの電波状態が悪くありませんか。	27
背景が黄色っぽく映る	室内の照明器具の明かりで、白い壁が黄色っぽく映ったり、色合いが変わったりすることがありますが、故障ではありません。	—
録画できない	microSDカードは入っていますか。 （モニターに が表示されていますか）	19
	microSDカードを初期化しましたか。	46
	上書き録画の設定になっていますか。	47
	外付けハードディスクは接続され、電源が入っていますか。 （モニターに が表示されていますか）	20
	録画設定に間違いはありませんか。	26
	カメラとモニターの電波状態が悪くありませんか。 電波の状態によっては、録画できないことがあります。	16
モーション検知録画が作動しない	検知対象（人、物）までの距離が長くないですか。	8、9
	カメラの周囲温度は高くないですか。	8
再生できない	録画ファイルは保存されていますか。	33
	録画中にモニター電源をOFFにしていませんか。	—
	モニターの電源を入れ直してください。	13
専用アプリを検索できない	検索ワードに間違いはありませんか。	59
	iPadの場合、iPhone用アプリで検索していますか。	59
スマートフォン・タブレットにカメラの映像が出ない	インターネットに接続されていますか。	57、59
	一度、LANケーブルを抜き、モニターの電源を入れ直してから、再度、LANケーブルを接続してください。	59
	ルーターの電源を入れ直してください。	59
	スマートフォン・タブレット用のアプリを再インストールしてください。	—
スマートフォン・タブレットに通知がこない	スマートフォン・タブレットの通知設定をONにしていますか。	60、61
モニターの白色部分がモザイク状になる	本機の液晶モニターの特性で、モザイク状になることがありますが、異常ではありません。	—
夜間の暗視撮影が赤色っぽい、または紫色っぽい	赤外線照射の光に赤色が混ざっているためです。 故障ではありません。	—

お手入れとメンテナンスのご注意、別売品 必要なとき

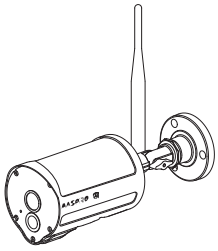
お手入れとメンテナンスのご注意

- ●本機や本機の付属品は、お子様の手が届かないようにしてください。
- ●本機をお手入れするときは、ACアダプターをACコンセントから抜いて、冷めてから触るようにしてください。
- ●カメラの性能に悪い影響があるため、カメラのレンズ表面に指紋や汚れを付けないでください。また、手でレンズ表面を触らないようにしてください。
- ●レンズが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭取ってください。
- ●本機を分解しないでください、故障の原因となります。
- ●本機を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- ●ACアダプターは、必ず付属の専用ACアダプターを使用してください。

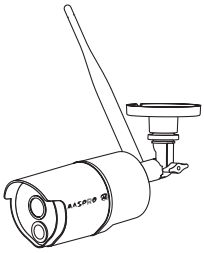
別売品

ワイヤレスカメラ
増設用
WC3B-BCL、WC3B-BC

●モニター 1台につき、最大4台まで接続可能です。



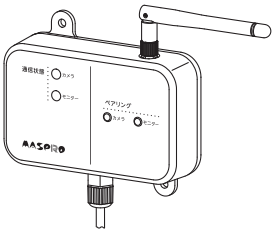
WC3B-BCL



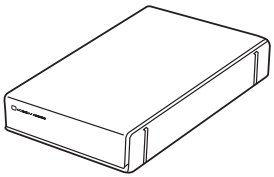
WC3B-BC

ご注意	増設カメラは、当社製品をご利用ください。 対応している製品の最新情報は、下記のURL、またはQRコードからご覧ください。 https://www.maspro.co.jp/support/prod/wlhc/set-3aml/

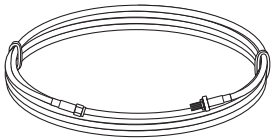
ワイヤレスカメラセット用
中継器
WC3-RP



セキュリティー機器用
外付けハードディスク
MS-HDD2TB



ワイヤレスカメラセット用
延長ケーブル
WC-5C1



規格表

必要なとき

カメラ部

MASPRO

項目		規格
イメージセンサー		1／ 2.8インチCMOSセンサー
画素数		約300万画素（2304H×1296V）
フレームレート		最大30fps
映像圧縮方式		H.264、H.265
撮影距離		約1.5m～∞
撮影画角		水平：約83°、垂直：約45°
センサーライト		白色LED、最大1000lm、光量調整：4段階
撮影照度		0Lux以上（赤外線撮影時）
赤外線照射距離		最大15m※1
赤外線人感センサー		検知距離 約7m（周囲温度20℃のとき）（検知角 約80°）※2 （夜間は検知距離が短くなります）
内蔵スピーカー		あり
内蔵マイク		あり
無線通信	使用周波数帯域	2.4GHz（2412～ 2484MHz）
	変調方式	DSSS、OFDM、DBPSK, DQPSK、CCK、16-QAM、64-QAM
	データレート	最大18Mbps
	通信距離	最大300m（見通しがよく、電波の妨害のない環境において）※3
カメラ電源ケーブル長		約2.8m
電源		DC 9V（ACアダプター使用）：AC100V
消費電力		12W（22.8VA）（センサーライト点灯時）
使用温度範囲		⊖10～⊕50℃ （ACアダプターは0～⊕40℃）
防じん防水性能		IP66（軒下など直接雨がかからない場所を推奨します）
外観寸法		82（H）×75（W）×119（D）mm（カメラ本体） （ACアダプター：80（H）×44（W）×32（D）mm）
質量（重量）		約650g

※1 暗所で良好に撮影が可能な距離は約半分になります。
※2 カメラを横切る動きは検知しやすく、正面から近付く動きは検知しにくくなります。また、夜間は検知距離が短くなります。
その他、環境によって短くなる場合があります。
※3 無線通信距離は、見通しがよく他の電波の妨害を受けない環境において、最大300mです。
カメラとモニターの間に壁など（木造壁・床、金属製のドア、コンクリート、鉄骨、金属の障害物）がある場合には、電波が減衰して通信できる距離が短くなります。（木造建築の場合、10～ 40mが目安となります）

規格表 つづき

モニター部

MASPRO

項目	規格
モニターサイズ	10.1インチフルカラーモニター（1024H×600V）
タッチパネル	静電式
カメラ接続台数	最大4台（4台同時録画可能）
録画保存	microSDHC/microSDXCメモリーカード（最大256GB）（クラス10以上） 外付けハードディスク **MS-HDD2TB**（別売品）（最大2TB）
録画解像度	2304H×1296V（3MP）／1920H×1080V（Full HD）／1280H×720V（HD）
録画ファイル形式	ASF、WMV
録画モード	モーション検知、スケジュール、マニュアル、AI検知（人・車）
上書き録画	可能（ON ／ OFF）：4台同時録画可能
SDカードフォーマット	FAT32、exFAT
再生方式	本体モニター再生、スマートフォン、タブレット
USB端子	USB2.0対応（バスパワーは使用しないでください）
HDMIミニ端子	タイプC、Ver1.4対応 （1080i/720p入力対応のハイビジョンテレビモニターが必要）
防じん防水性能	なし（非防水）
使用温度範囲	0～⊕40℃
電源	DC5V（ACアダプター使用）：AC100V
消費電力	4.7W（10.5VA）
外観寸法	178（H）×266（W）×71（D）mm （ACアダプター：80（H）×44（W）×32（D）mm）
質量（重量）	約610g

スマートフォン・タブレット

MASPRO

項目	規格
対応OS	iOS8.0以降　Android7.0以降 （iOS10.3、Android7.0まで作動確認済）
専用アプリ	iHomeCam

2026年10月現在

ワイヤレスカメラセット 保証書

持込修理

MODEL **WC3B10ML**

見本

お客様ご住所

TEL. ― ―

★お客様お名前　　様

★保証期間（販売店記入欄）

お買上げ日　　年　　月　　日から**1年間**

★販売店名・住所（販売店記入欄）

TEL. ― ―

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。本書は再発行いたしません、紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

1. 店舗購入の場合、故障した本製品（以下「修理品」）、付属品、ご購入日を証明できる書類（領収書など）、および本保証書を、購入した店舗にお持込みください。
   通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および修理サービス申込書（弊社ウェブサイトからダウンロード）を、弊社修理係に直接ご送付ください。
2. お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換（以下「無償修理など」）いたします。なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
   - 必要な各書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
   - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動、テロ行為、破壊行為、公害、塩害、ガス害、異常電圧、またはこれらに類する原因による故障および損傷
   - ご使用上の誤りによる故障および損傷
   - 不当な修理や改造による故障および損傷
   - お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
   - 他の機器などにより誘発された故障および損傷
   - 特殊な環境下（例えば車両・船舶への搭載など）で使用されたときの故障および損傷
   - 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
   - 消耗部品の交換
   - 日本国外で購入もしくは使用された機器の故障および損傷
   - その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
3. 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。
4. 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段（宅配など）でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
5. 無償修理などを行なった場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
6. 製品に保存されているデータは、ご自身でバックアップの上、ご送付ください。無償修理などにより、保存データは原則として全て消去されます。保存データの消失、破損などについては一切保証いたしません。また、故障原因の確認や修理のために、保存データを調査させていただく場合があります。
7. お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実に発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
8. 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについて弊社は責任を負いません。
9. 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担を行いません。
10. 交換の場合、交換された製品・部品の所有権は弊社に譲渡されます。
11. 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月の満了日のいずれかの長い方とします。
12. お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過しても回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
13. 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただくことがあります。
14. 譲渡品、中古品、転売品（オークション購入などを含む）については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
15. 本製品の修理期間中、代替機器の提供は行いません。
16. 本製品の出張修理は行いません。
17. 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＝マスプロ電工株式会社＝

本　社　〒470-0194　愛知県日進市浅田町上納80

インターネット　www.maspro.co.jp

技術相談

ナビダイヤル® **0570-091119**

固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます

IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**

受付時間　9～12時、13～17時（土・日・祝日、当社休業日を除く）

＝お問合せホームページ＝

お客様からよく寄せられるご質問をホームページに掲載しています。QRコードよりご確認ください。

＝マスプロ電工＝

●製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

●この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

OCT.,2026

2K58-122　TA(TK)-610-7122-4T